

令和元年度 事業報告書

みんなのひと



社会福祉
法人

相模原市社会福祉協議会

目 次

重点的な取組	ページ 1 ~ 4
実施事業報告	5 ~ 72

①法人運営事業

	事業名	ページ
1	一般会員の加入促進	6
2	理事会等の開催	
3	苦情解決事業	
4	事務局の運営	11
5	共同募金会相模原市支会の運営	
6	相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援	15
7	相模原市地区社会福祉協議会の運営支援	16
8	部会活動推進事業	
9	委員会の開催	18
10	福祉のしごと・魅力発信事業	20
11	広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行	
12	相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催	21
13	賛助会員募集事業	
14	録音・点字版社協さがみはらの発行	22
15	マスコットキャラクターを活用したPR	
16	寄付促進推進事業	

②地域福祉推進事業

	事業名	ページ
1	地区社協情報コーナーの設置	23
2	福祉情報ネットワーク推進事業	
3	ご近所おむすびサポーターの推進	
4	地域の支えあい応援事業(地域福祉推進員の設置)	
5	地域の支えあい応援事業(地域福祉支援員の設置)	
6	地域の支えあい応援事業(賛助会員の配分)	24
7	地域の支えあい応援事業(サロン活動支援事業)	
8	福祉コミュニティ形成事業	28
9	交通遺児援護事業	
10	南区地域福祉交流ラウンジの運営	30
11	民生委員・児童委員研修事業	
12	ボランティアチャレンジスクールの開催	31
13	福祉教育活動推進事業	32
14	ふれあいデイホーム事業	33
15	インターネット等活用福祉情報提供事業	
16	地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)	34
17	災害見舞金の支給	
18	就職支度費等一時給付事業(生活困窮者世帯就職活動応援事業)	35
19	食料品等緊急一時給付事業	
20	生活困窮者支援団体応援事業	35
21	子ども健やか育成事業	
22	子どもの居場所創設サポート事業	

	事業名	ページ
23	相模原市立視覚障害者情報センター窓口業務等	36
24	市民活動育成支援事業	37
25	ボランティアセンター運営事業	38
26	いるかバンクの運営	39
27	防災ボランティア推進事業	40
28	災害ボランティアセンターの運営	41
29	ボランティア協会活動助成	42
30	地区住民相談支援活動推進事業	43
31	高齢者生活支援体制整備事業	45

③あんしんセンター事業

	事業名	ページ
1	法人後見事業	50
2	権利擁護事業 1) 日常生活自立支援事業	51
	2) 成年後見制度利用促進事業	53
3	市民後見人養成事業	55

④在宅福祉推進事業

	事業名	ページ
1	ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業	57
2	福祉用具無料貸出事業	59
3	相模原身体障害者用福祉車両(あじさい号)運行事業	
4	津久井地域移動支援サービス事業の実施	60
5	ファミリー・サポート・センター事業	
6	生活福祉資金の貸付事務	63
7	生活資金一時貸付事業	
8	要援護世帯生活資金貸付事業	64
9	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	
10	社会福祉事業振興資金貸付事業	65

⑤住民参加推進事業

	事業名	ページ
1	ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業	66
2	要介護認定調査事業	68
3	介護支援ボランティア事業	

⑥市民福社会館運営事業

	事業名	ページ
1	あじさい会館管理運営事業	69
2	あじさい会館南分室(南保健福祉センター内)	71
3	あじさい会館緑分室(緑区合同庁舎内)	72

⑦収益事業

	事業名	ページ
1	飲料水等販売・自動販売機等運営事業	72

社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

令和元年度 事業報告

1. はじめに

超高齢社会の進展に伴い、支援を必要とする高齢者の増加、経済的な困窮、また、子どもの貧困等を背景として、社会的な孤立、生活不安・生きづらさ等に起因する新たな福祉課題の解決が求められている中で、公的な制度・サービスと一体となって、市民の方々が主体となった福祉活動の取組が求められており、潜在化する個別ニーズの把握や、とりわけ制度だけでは支えられないニーズや複合的な福祉課題の解決には、身近で、きめ細やかな市民福祉活動への役割と期待が高まっています。

このため、本会では、地区社会福祉協議会、自治会、民生委員・児童委員等による小地域の支えあい活動の更なる促進を図るとともに、「子どもの居場所づくり」、「生活困窮者支援」をはじめとする今日的な福祉課題の解決に取り組む市民福祉活動団体との連携の強化を進めてまいりました。

また、令和元年東日本台風（台風第19号）の被害により、津久井、相模湖及び藤野地区に災害ボランティアセンターを開設し、居宅の土砂の片付けや家財の搬出等の依頼に対応しました。さらに、被災者のニーズが「応急対応」から「生活再建」に移行する中、災害ボランティアセンターから「ささえあいセンター」に移行し、経済的な不安、孤立・孤独等生活全般にわたるニーズに、福祉的な相談支援により対応いたしました。

2. 重点的な取組

(1) 地域で困りごとを相談、解決できる仕組みづくりを進めます

ア 福祉コミュニティ形成事業の推進（事業実施報告 P24）

市内22地区で地区社会福祉協議会を中心に取組まれる「福祉コミュニティ形成事業」をはじめとする小地域の支えあい活動を通じて、潜在する個別ニーズや地域の福祉課題を把握し、共有する場づくりを、コミュニティソーシャルワーカー等による支援を通じて促進しました。

福祉コミュニティ形成事業補助金を活用する
主な「小地域の支えあい活動」の実施及び検討状況

(単位：地区数)

居場所	見守り活動	個別ニーズ 対応	相談窓口	地域活動拠点	その他
17	4	10	4	5	3

イ 高齢者生活支援体制整備事業の推進（事業実施報告 P45）

市内29日常生活圏域において、高齢者の生活支援や介護予防の仕組みをつくる介護保険制度「高齢者生活支援体制整備事業」については、これまで地区社会福祉協議会等が取り組んできた小地域の支えあい活動の実績を踏まえ、生活支援コーディネーター業務を通じて、その促進を図りました。

高齢者生活支援体制整備事業における主な取組状況

（単位：地区数）

居場所	見守り活動	個別ニーズ対応	外出支援 買物支援	担い手確保	住民への 情報提供	ニーズ調査	専門機関等連携
18	6	3	9	5	13	6	6

ウ コミュニティソーシャルワーカーによる支援（事業実施報告 P43）

地域の支えあい活動や相談支援活動をより効果的に進めるため、専任担当者としてコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内全22地区に配置し、「個別支援（既存の制度だけでは対応困難な個別ニーズの把握と相談支援）」及び「地域支援（地域の支えあい活動の推進、専門機関等との連携体制の構築等）」に取り組みました。

CSWによる支援の状況

	実相談件数	延べ支援件数
個別支援	296件	3,493件
地域支援		16,418件

（2） 市民福祉活動との連携・協働を推進します

ア 生活困窮者支援に取り組む市民福祉活動団体への支援（事業実施報告 P34）

子ども食堂や無料学習塾、生活困窮者の社会参加・就労支援など今日的な福祉課題の解決に取り組む市民福祉活動団体との情報交換及び課題共有を進め、また、団体相互の協働を促進する場づくりに取り組みました。

さらに、各団体の活動を支援する「子ども健やか育成事業」や「生活困窮者支援団体応援事業」、「市民活動応援事業」の助成事業の活用促進を図りました。

生活困窮者支援市民福祉活動団体への助成実績

助成事業	助成金交付団体	助成金交付額
子ども健やか育成事業	27団体	5,994,585円
生活困窮者支援団体応援事業	8団体	1,427,028円
市民活動応援事業	21団体	1,790,426円

イ 子どもの居場所創設サポート事業の推進（事業実施報告 P35）

「子どもの居場所創設サポート事業（市受託事業）」を通じて、市民福祉活動団体が主体となって運営する子ども食堂や無料学習塾等の子どもの居場所の立ち上げ支援を進めました。

子どもの居場所づくりに向けた支援の状況

子どもの居場所づくりセミナーの開催	7回（参加人数 144人）
子どもの居場所総合相談	相談件数 1,602件

（3）高齢者、障がい者等の権利擁護を進めます

ア 法人後見事業の推進（事業実施報告 P50）

身上保護を通じて、判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい、精神障がいのある方々への支援を図るため、「市社協としての成年後見受任」を進めました。

成年後見等受任実利用者数

認知症高齢者	障がい者		合 計
	知的	精神	
16人	6人	6人	28人

イ 権利擁護事業の推進（事業実施報告 P51）

判断能力の低下した認知症高齢者、知的障がい、精神障がいのある方々を支援する「日常生活自立支援事業」の更なる利用の促進を図りました。

日常生活自立支援事業実利用者数

認知症高齢者	障がい者			その他	合 計
	知的	精神	身体		
52人	27人	57人	7人	1人	144人

また、成年後見制度の利用促進を図るために、弁護士等法律の専門職、高齢者支援センターや障害相談事業所等福祉の専門機関、さらには、不動産関係団体等権利擁護に関わる多様な機関・団体等とのネットワークの強化を図りました。

また、市民福祉活動との連携を通じて新たな権利擁護に係るニーズの把握に努めてまいりました。併せて、成年後見制度の新たな担い手養成を目的とした市民後見人養成の推進を図りました。

主な成年後見制度利用促進事業の実績

成年後見一般相談（職員対応）	318 件
成年後見専門相談（司法書士等対応）	77 件
成年後見制度説明会への専門職講師派遣	2 回（参加人数 42 人）
成年後見制度市民公開講座	3 回（参加人数 125 人）

（４） 被災された方々への支援に向けた取組を進めます

◆ 災害ボランティアセンターの開設（事業実施報告書 P41）

令和元年東日本台風（台風第 19 号）による緑区を中心とした甚大な被害に対し、災害ボランティアによる支援の受け入れのため、相模原市との災害時における協定に基づき、市からの要請を受け災害ボランティアセンターを設置し、居宅内の土砂の片付け、家財の移動等に対応しました。

- 設置期間：令和元年 10 月 17 日から 12 月 12 日まで
- 設置場所：津久井地区センター（津久井総合事務所内）
相模湖地区センター（相模湖総合事務所内）
藤野地区センター（藤野総合事務所内）
- 12 月 13 日より、城山地区を加えた 4 地区にささえあいセンターを移行設置しました。

災害ボランティアセンターの取組状況

	津久井地区	相模湖地区	藤野地区	合 計
依頼相談件数	134 件	37 件	56 件	227 件
ボランティア活動者数	1,987 人	752 人	715 人	3,454 人

（５） 寄付等を通じた市民・企業等の福祉への参加を促進します。

◆ 企業・法人の社会貢献活動の促進（事業実施報告 P22）

寄付活動をはじめとした企業・法人の本業や持ち味を生かした活動の実践を、広報紙社協さがみはら「みんないいひと」及び本会ホームページ等に連載し、広く市民に取り組みを周知しました。

実 施 事 業 報 告

凡 例：事業名の次行右に財源名(括弧書き)及び執行済額を記載
補助 市・県社協補助金
共募 共同募金配分金
委託 市・県社協委託金
自主 自主財源(賛助会費、寄付金、事業収入等)

① 法人運営事業

1 一般会員の加入促進

一般会員内訳

種 別	部会名	会員数	令和元年度 新規加入数
第1種会員	地区社協部会	22	—
第2種会員	地区自治会部会	22	—
第3種会員	民生委員部会	22	—
第4種会員	ボランティア・市民活動団体部会	17	—
第5種会員	高齢者福祉部会	64	—
第6種会員	障がい福祉部会	110	1
第7種会員	児童福祉部会	93	—
第8種会員	学識経験者	9	—
第9種会員	行政機関	4	—
合 計		363	1

2 理事会等の開催

(自主) 550,650 円

組織体制

役員等	人 数
理 事	15 人
監 事	2 人
評議員	31 人

理事会の開催 (9 回)

開催月日	出席者	内 容
<第1回> 平成31年4月8日(月)	決議の省略 理事 13 人 監事 2 人	議案第1号 一般会員の推薦について 議案第2号 評議員会の招集について
<第2回> 平成31年4月26日(金)	決議の省略 理事 14 人 監事 2 人	議案第3号 常務理事の選定について
<第3回> 令和元年6月4日(火)	理事 12 人 監事 1 人	議案第4号 平成30年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について

		議案第 5 号 一般会員の推薦について 議案第 6 号 評議員選任候補者の同意について 議案第 7 号 評議員会の招集について 報告第 1 号 専決処分の報告について（平成 30 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 4 号）） 報告第 2 号 専決処分の報告について（平成 30 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算（第 1 号）） 報告第 3 号 部会等における理事及び監事の推薦結果について 報告第 4 号 平成 30 年度資金運用結果について
<第 4 回> 令和元年 6 月 21 日（金）	理事 10 人 監事 2 人	議案第 8 号 会長、副会長及び常務理事の選定について 議案第 9 号 評議員選任委員会委員の選任について
<第 5 回> 令和元年 7 月 25 日（木）	理事 13 人 監事 2 人	議案第 10 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和元年度顕彰者の決定について 議案第 11 号 各種委員会委員の選出について 議案第 12 号 評議員会の招集について 報告第 5 号 専決処分の報告について（令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 1 号）） 報告第 6 号 権利擁護事業審査会委員について 報告第 7 号 苦情解決第三者委員について その他 (1)子どもの居場所創設サポート事業における市社協の取組について
<第 6 回> 令和元年 11 月 12 日（火）	理事 9 人 監事 2 人	議案第 13 号 一般会員の入会承認について 議案第 14 号 一般会員の推薦について 議案第 15 号 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 3 号） 議案第 16 号 評議員会の招集について 報告第 8 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 報告第 9 号 専決処分の報告について（令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 2 号））

		その他	(1)相模原市災害ボランティアセンターの開 設及び運営について (2)南房総市災害ボランティアセンターへの 職員派遣について
<第7回> 令和元年11月29日(金)	決議の省略 理事 15人 監事 2人	議案第17号	常務理事の選定について
<第8回> 令和2年1月17日(金)	理事 9人 監事 2人	議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 報告第10号 報告第11号 報告第12号 報告第13号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の 変更について 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務専 決規程の一部を改正する規程について 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員就 業規程の一部を改正する規程について 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給 与規程の一部を改正する規程について 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協 議会社会福祉事業区分補正予算(第4号)に ついて 令和2年度あじさい基金等資産運用計画の策 定について 評議員選任候補者の同意について 評議員会の招集について 専決処分の報告について(令和元年度社会福 祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程 の一部を改正する規程) 部会における理事候補者の推薦結果について 第9次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動 計画(案)の重点的な取組について 相模原市災害ボランティアセンターから「さ さえあいセンター」への移行について
<第9回> 令和2年3月19日(木)	決議の省略 理事 15人 監事 2人	議案第26号 議案第27号 議案第28号	副会長の選定について 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の 変更について 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤 職員等就業規程の一部を改正する規程につい て

		議案第 29 号 第 9 次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動 計画（案）について
		議案第 30 号 令和 2 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協 議会事業計画及び予算について
		議案第 31 号 生活資金一時貸付の償還免除について
		議案第 32 号 評議員会の招集について

監査の実施（1回）

開催月日	出席者	内 容
令和元年 5 月 21 日（火）	監 事 2 人	監査の対象 平成 30 年度に執行した事業及び財産に関する収支書類

評議員会の開催（6回）

開催月日	出席者	内 容
<第 1 回> 平成 31 年 4 月 16 日（火）	決議の省略 評議員 27 人	第 1 号議案 理事の選任について
<第 2 回> 令和元年 6 月 19 日（水）	評議員 24 人	第 2 号議案 平成 30 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について 第 3 号議案 役員の選任について 報告第 1 号 専決処分の報告について（平成 30 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 4 号）） 報告第 2 号 専決処分の報告について（平成 30 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算（第 1 号）） 報告第 3 号 平成 30 年度資産運用結果について その他 (1)一般会員の入会について
<第 3 回> 令和元年 8 月 7 日（水）	評議員 27 人	議案第 4 号 各種委員会委員の選出について 報告第 4 号 専決処分の報告について（令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 1 号）） 報告第 5 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和元年度顕彰者について その他 (1)子どもの居場所創設サポート事業における市社協の取組について

<p><第4回> 令和元年11月21日(木)</p>	<p>評議員 24人</p>	<p>議案第5号 役員の選任について</p> <p>議案第6号 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第3号)</p> <p>報告第6号 会長及び常務理事の職務の執行状況について</p> <p>報告第7号 専決処分の報告について(令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第2号))</p> <p>その他 (1)一般会員の入会について (2)一般会員の推薦について (3) 南房総市災害ボランティアセンターへの職員派遣について (4) 相模原市災害ボランティアセンターの開設及び運営について</p>
<p><第5回> 令和2年1月28日(火)</p>	<p>評議員 24人</p>	<p>議案第7号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について</p> <p>議案第8号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務専決規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第9号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第10号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第11号 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第4号)について</p> <p>議案第12号 役員の選任について</p> <p>議案第13号 各種委員会委員の選出について</p> <p>報告第8号 専決処分の報告について(令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程)</p> <p>報告第9号 令和2年度あじさい基金等資金運用計画について</p> <p>報告第10号 相模原市災害ボランティアセンターから「ささえあいセンター」への移行について</p> <p>報告第11号 第9次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動計画(案)の重点的な取組について</p>

<第6回> 令和2年3月26日(金)	決議の省略 評議員 30人	議案第14号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について
		議案第15号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について
		議案第16号 第9次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動計画(案)について
		議案第17号 令和2年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業計画及び予算について
		議案第18号 生活資金一時貸付の償還免除について

3 苦情解決事業

提供するサービスや事業に対する市民からの苦情、要望等に適切に対応した。

苦情受付内容

事業名	件数
法人運営事業	2件
共同募金事業	2件
市民福祉会館管理運営事業	2件
地区住民相談支援活動事業	1件
合計	7件

4 事務局の運営

(補助・自主) 484,654,897円

1) 事務局運営

市民福祉活動支援、権利擁護に係る利用者支援及び関係機関・団体とのネットワーク構築に必要となる個別支援、連絡調整等に係る人員の確保に向け、事務事業の見直しを進めた。

職名	人数
固有職員	51人
嘱託職員	6人
非常勤職員	163人
合計	220人

事務局
○総務課 企画財政係、総務係、あじさい会館
○福祉推進課 地域支援係、市民活動係
○さがみはら成年後見・あんしんセンター
○緑区事務所 城山地域事務所 津久井地域事務所 相模湖地域事務所 藤野地域事務所
○南区事務所

職員研修の実施

開催月日	参加	内容
令和元年 5月28日(火) 6月7日(金) ※いずれか1日	固有職員 嘱託職員 非常勤職員 71名	第1部 講義会 テーマ 「ソーシャルワーカーの視点による相談対応」 講師 隅河内 司 氏 (生活支援コーディネーターアドバイザー)
令和2年 1月29日(水)	固有職員 嘱託職員 非常勤職員 54名	第1部 勉強会 テーマ 「海外にルーツのある世帯の現状を学ぶ」 講師 鯉田 哲子 氏 (さがみはら国際交流ラウンジ 運営機構 相談プロジェクト代表) 第2部 グループディスカッション テーマ コミュニティソーシャルワーカーの信条 「CSWは何をする、何ができる」

2) 情報の公開、事業運営の透明性の確保

理事会や評議員会の議事録等の経営情報や、事業報告・決算及び事業計画・予算等運営状況等の情報をホームページや広報紙等を通じて公開し、事業運営の透明性の確保を図った。

3) 寄付金の受入れ

寄付金の受入れ状況

区 分	件 数	金 額
社会福祉のために	104 件	4,920,304 円
交通遺児のために	12 件	863,449 円
障がい福祉のために	2 件	284,142 円
子ども健やか育成基金のために	4 件	375,000 円
災害ボランティアセンターのために	10 件	641,208 円
その他	12 件	24,000 円
合 計	144 件	7,108,103 円

4) 寄付物品の受入れ

寄付物品の受入れ状況

日用品	紙おむつ	福祉用具等	小物類	災害支援	電気製品	その他	合 計
23 件	9 件	7 件	3 件	5 件	3 件	12 件	62 件

寄付物品の配分状況

区 分	個 人	団 体	合 計
日 用 品	16 件	7 件	23 件
紙 お む つ	9 件	－件	9 件
福 祉 用 具 等	5 件	2 件	7 件
小 物 類	3 件	－件	3 件
災 害 支 援	2 件	3 件	5 件
電 気 製 品	3 件	－件	3 件
そ の 他	8 件	4 件	12 件
合 計	46 件	16 件	62 件

5) 企業・法人の社会貢献活動の促進のPR

広報紙「社協さがみはら」及びホームページに社会貢献活動の連載記事『企業・法人の本業や持ち味を生かした福祉活動』を掲載した。

6) 関東甲信越静ブロック社協災害時相互支援協定に基づく職員派遣

令和元年房総半島台風（台風第15号）被害による千葉県内への職員派遣要請に対し、以下の派遣を行った。また、幹事社協として、ブロック全体の派遣調整を行った。

派遣場所：◇南房総市災害ボランティアセンター（9/20～10/31）
 神奈川県社協、横浜市社協、川崎市社協、相模原市社協
 ◇館山市災害ボランティアセンター（9/26～10/31）
 長野県社協、山梨県社協、新潟県社協
 ◇富津市災害ボランティアセンター（9/26～10/31）
 静岡県社協、静岡市社協、浜松市社協、新潟市社協
 派遣実績：相模原市社協職員派遣延べ58名（24日間）

5 共同募金会相模原市支会の運営

共同募金の募集・受配実績

区 分	実績額	県共同募金会からの受配額
赤い羽根募金	34,863,420円	16,012,761円
年末たすけあい募金	15,354,627円	14,991,272円
合 計	50,218,047円	31,004,033円

募金種別の募集実績額内訳

区 分	金 額
戸別募金	43,871,686円
街頭募金	1,654,992円
法人募金	2,372,476円
学校校内募金	743,088円
職域募金	894,691円
イベント募金	51,754円
その他	629,360円
合 計	50,218,047円

受配額の内訳

内 容	金 額
社会福祉施設の支援のために	4,210,000円
在宅福祉サービス団体等の支援のために	1,200,000円
本会の事業推進のために	6,957,761円
年末たすけあい配分事業等に	14,991,272円
災害見舞金の支給	45,000円
市支会運営費のために	3,600,000円
合 計	31,004,033円

合同会議の開催

実施概要

開催月日	内 容
<全体開催>平成31年4月10日(水)	・平成30年度共同募金運動実績報告
<緑区開催>令和元年 8月5日(月)	・令和元年度共同募金運動実施計画 ・共同募金運動推進方策への取組について
<中央区開催> 8月6日(火)	
<南区開催> 8月8日(木)	

6 相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援

本会に相模原市民生委員児童委員協議会の事務局を置き、民生委員・児童委員の活動支援を行った。

各種会議開催の支援

会議名	回数
総会	1回
常任理事会	12回
役員会	10回
理事会	2回

専門委員会等開催の支援

委員会名	回数
地域福祉推進委員会	2回
児童・子育て支援委員会	2回
主任児童委員連絡会	5回
広報委員会	2回
機関紙編集会議	6回
研修委員会	4回

研修会開催の支援

開催月日	内容	
令和元年 6 月 10 日 (月)	全体研修会 「DV 被害者による DV 被害防止啓発講演及びコンサート」	
6 月 21 日 (金)	主任児童委員研修会 I 「ひきこもりの方や家族への支援について」	
10 月 28 日 (月)	主任児童委員研修会 II 「主任児童委員と行政機関との連携について」	
11 月 11 日 (月)	中堅委員等研修会 中央区会場	「社会的孤立と民生委員・児童委員の役割について」
11 月 15 日 (金)	中堅委員等研修会 南区会場	
11 月 25 日 (月)	中堅委員等研修会 緑区会場	
令和 2 年 1 月 31 日 (金)	新任民生委員・児童委員研修 I 「地域福祉の動向と行政窓口との連携・相談援助の基本について」	
2 月 12 日 (水)	新任民生委員・児童委員研修 II 南区会場	福祉制度・サービスの説明
2 月 18 日 (火)	新任民生委員・児童委員研修 II 緑区会場	
2 月 19 日 (水)	新任民生委員・児童委員研修 II 中央区会場	
2 月 25 日 (火)	主任児童委員研修会 III 「主任児童委員と児童相談所との連携について」	

7 相模原市地区社会福祉協議会の運営支援

相模原市地区社会福祉協議会の事務局として、地区社会福祉協議会の活動支援を行った。

各種会議開催の支援		行政等との意見交換会開催の支援	
会議名	回数	行政等名称	内容
全体会	4回	地域包括ケア推進課	今後の介護予防・日常生活支援総合事業について
役員会	7回	高齢政策課	今後の敬老事業について
緑区連絡会	6回	地域福祉課、市社協	福祉コミュニティ形成事業について
中央区連絡会	5回		
南区連絡会	4回		

会員研修会開催の支援

開催月日	内容
令和元年 11月28日(木) ～ 11月29日(金)	福島県いわき市被災地視察研修 ※令和元年東日本台風の影響により中止
令和2年1月31日(金)	災害ボランティア活動実践報告会

8 部会活動推進事業

(自主) 217,077円

1) 種別部会の開催

ボランティア・市民活動団体部会

開催月日	内容
令和元年 5月21日(火)	議 題 (1) 正・副部会長の互選について (2) 相模原市社会福祉協議会理事候補者の推薦について (3) 相模原市社会福祉協議会評議員選任候補者(欠員の補充)の推薦について 報告事項等 (1) 令和元年度相模原市社会福祉協議会事業計画・予算について (2) 子どもの居場所創設サポート事業等について (3) 相模原市社会福祉協議会情報提供媒体の活用について

高齢者福祉部会

開催月日	内 容
令和元年 5 月 27 日(月)	<p>議 題</p> <p>(1) 正・副部会長の互選について</p> <p>(2) 相模原市社会福祉協議会理事候補者の推薦について</p> <p>(3) 第9次期地域福祉活動計画策定に向けた意見交換 報告事項等</p> <p>(1) 令和元年度相模原市社会福祉協議会事業計画・予算について</p> <p>(2) 相模原市社協情報提供媒体の活用について</p> <p>(3) 高校等キャリア教育推進事業講師の募集について</p>

障がい福祉部会

開催月日	内 容
令和元年 5 月 24 日(金)	<p>議 題</p> <p>(1) 正・副部会長の互選について</p> <p>(2) 相模原市社会福祉協議会理事候補者の推薦について</p> <p>(3) 第9次期地域福祉活動計画策定に向けた意見交換 報告事項等</p> <p>(1) 令和元年度相模原市社会福祉協議会事業計画・予算について</p> <p>(2) 相模原市社協情報提供媒体の活用について</p> <p>(3) 高校等キャリア教育推進事業講師の募集について</p>

児童福祉部会

開催月日	内 容
令和元年 5 月 22 日(水)	<p>議 題</p> <p>(1) 正・副部会長の互選について</p> <p>(2) 相模原市社会福祉協議会理事候補者の推薦について</p> <p>(3) 相模原市社会福祉協議会評議員選任候補者(欠員の補充)の推薦 について</p> <p>(4) 第9次期地域福祉活動計画策定に向けた意見交換</p> <p>(5) 令和元年度部会研修について</p> <p>報告事項等</p> <p>(1) 令和元年度相模原市社会福祉協議会事業計画・予算について</p> <p>(2) 相模原市社会福祉協議会情報提供媒体の活用について</p> <p>(3) 高校等キャリア教育推進事業講師の募集について</p>

2) 特別部会の開催

ア 高齢者福祉施設部会

事業を経営する社会福祉法人により構成し、地域福祉の推進及び神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会（県老施協）等との連携を目的に開催した。

- 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会との連携
 - ・神奈川県老人福祉施設協議会委員会への参加（委員 5 人）
 - ・神奈川高齢者福祉研究大会の企画・運営支援（実行委員会・係員 10 人）
- 各種別施設協議会等との連携
 - ・全国老人福祉施設協議会
 - ・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
 - ・首都圏高齢者福祉協議会

9 委員会の開催

(自主) 225,649 円

1) 地域福祉活動計画等推進委員会の開催

第 9 次地域福祉活動計画の策定に向けた検討を行った。

開催月日	内 容
第 1 回 令和元年 8 月 30 日（金）	(1) 正副委員長の互選について (2) 重点的な取組に係る現状・課題について ●重点的な取組 1 「小地域の支えあい活動の推進」 ①支援を必要とする人のニーズ把握の仕組みづくり ②小地域支えあい活動と福祉施設等が連携・協働する支援活動づくり ●重点的な取組 2 「テーマ型市民福祉活動団体等の連携・協働の促進」 ○市民福祉活動団体相互の連携等の場づくり ●重点的な取組 3 「権利擁護の総合的な支援事業の推進」 ○身元保証・死後事務ニーズへの対応
第 2 回 令和 2 年 9 月 18 日（水）	(1) 第 9 次計画における「今後、求められる取組」について 重点的な取組 1 市民による支えあい活動の基盤づくり 重点的な取組 2 市民による支えあい活動を通じたニーズ把握の推進 重点的な取組 3 市民による支えあい活動と福祉施設等専門機関の連携・協働の推進 重点的な取組 4 テーマ型市民福祉活動団体の連携・協働の促進 (2) 「今後、求められる取組」の検討について 〈グループディスカッション〉

区別説明会 (緑区・南区) 令和元年 9 月 21 日 (土) (中央区) 令和元年 9 月 28 日 (土)	(1) 計画 (案) の概要について (2) 事例を通して理解する「地域の困りごとを相談・解決する仕組みづくり」
地域福祉シンポジウム 令和元年 11 月 17 日 (日)	(1) 基調講演 「地域共生社会づくり」 (2) 分科会 ① ひきこもり等若者たちが抱える生きづらさ ② 本市における成年後見制度の利用促進を考える ③ 「孤立の病」「否認の病」は社会の病気
第 3 回 令和元年 11 月 19 日 (火)	(1) 第 9 次地域福祉活動計画における「今後、求められる取組」について ア テーマ型市民福祉活動団体の連携・協働の促進 (2) 第 9 次地域福祉活動計画における「重点的な取組」の素案について ア 地域住民による支えあい活動から「困りごと」の把握を推進 イ 権利擁護支援の地域連携ネットワークへの参画 ウ 身寄りのない人への新たな支援の推進 (3) 第 9 次地域福祉活動計画の体系 (案) 等について ア 計画の体系「基本理念・基本目標・重点目標・重点的な取組」 イ 計画の構成 (案)
第 4 回 (文書審議) 令和 2 年 1 月 30 日 (木)	(1) 計画書の構成について (2) 第 9 次地域福祉活動計画「計画書 (素案)」について
第 5 回 (文書審議) 令和 2 年 2 月 27 日 (木)	(1) 第 9 次地域福祉活動計画「計画書 (案)」について (2) 今後のスケジュールについて

2) 経営基盤強化委員会の開催

市民に対する寄付しやすい環境の整備、また、企業・法人に対する寄付促進の手法の開発に係る進捗状況等について検討を行った。

開催月日	内 容
令和元年 9 月 13 日 (金)	(1) 正副委員長の互選について (2) 寄付促進に向けた取組の進捗状況について (3) 自主財源の確保に向けたあじさい基金の活用について (4) 今後のスケジュールについて

10 福祉のしごと・魅力発信事業

(自主) 25,880 円

福祉の仕事の魅力を高校生等に伝え、将来の職業の選択肢としての意識醸成を目的に、福祉施設等と協働した「高校等キャリア教育推進事業」に取り組んだ。

参加者数：145人

活動講師数：6人(高齢者福祉施設：3人 児童福祉施設：1人 障がい者福祉施設：2人)

実施校：3校(小学校：1校 中学校：1校

高等学校：1校)



11 広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行

(自主) 10,180,704 円

1) 全市版の発行

年6回(偶数月1日 197,000部発行) タブロイド版 新聞折込

号数等		内容
227号	2019年4月号	市民福祉活動を応援！助成交付団体を募集 ・生活困窮者支援団体応援事業・子ども健やか育成事業・市民活動応援助成事業の3事業について助成交付団体を募集
228号	2019年6月号	“子どもの未来”をつくる活動を応援しませんか！ ・子ども健やか育成基金を活用する市民福祉活動団体の取組紹介と基金への寄付募集
229号	2019年8月号	「若い力」をみんなのために ～好きなことを生かして、ボランティア活動を始めませんか～ ・高等学校や大学の部活動やサークル活動を、ボランティア活動に生かした取組の紹介
230号	2019年10月号	自分のまちを良くする仕組み 赤い羽根共同募金運動にご協力を！ ・赤い羽根共同募金に対する協力依頼と主な用途紹介
231号	2019年12月号	台風第19号 災害ボランティア活動報告 ・11月20日時点の災害ボランティア活動の実績報告及び協力の御礼
232号	2020年2月号	「株式会社永田屋」参加費無料！出張による「終活セミナー」を開催 ・企業・法人の持ち味を生かした福祉活動の紹介と寄付募集

2) 区版の発行

年3回（7月11日、9月12日、1月16日 各154,500部発行）

※ 区版は、(株)タウンニュース社発行の「タウンニュース」（緑区・中央区・南区版）の各1ページに掲載

号数等		内容
第28号	2019年7月11日号	《緑区・中央区・南区だより》 福祉のまちづくりを応援 ～地域の支えあい活動は、賛助会費によって支えられています～
第29号	2019年9月12日号	《緑区・中央区・南区だより》 福祉施設と地域がジョイント！ ～お互いの持味を発揮した福祉活動が進んでいます～ ・福祉施設による自発的な地域貢献活動等を紹介
第30号	2020年1月16日号	《緑区・中央区・南区だより》 子どもの未来を作る活動を応援しませんか ～子ども健やか育成基金」を活用する取組～ ・子どもの居場所づくりに取り組む市民福祉活動団体の取組紹介と寄付募集

1 2 相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催

（自主）1,260,059円

令和元年東日本台風（台風第19号）の影響を受け、第50回相模原市社会福祉大会の開催は中止となった。顕彰者には、表彰状や大会記念品等を郵送した。

（顕彰者：特別表彰、一般表彰、感謝表彰を受賞する265の個人・団体等）

1 3 賛助会員募集事業

（自主）2,019,574円

市内22地区社会福祉協議会を通じて地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会の協力により募集を行った。

一般賛助会員募集実績

募集実績	うち地区配分額
27,750,244円	13,875,124円

法人賛助会員募集実績

会員数	金額
96法人	1,460,000円

募集推進会議の開催

開催月日	内 容
平成 31 年 4 月 10 日 (水)	<p>地区社会福祉協議会、地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会 会長の参加により開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協さがみはら、地域情報紙等を活用した募集案内及び募集結果等の市民周知 ・賛助会員募集 Q&A の自治会役員等募集協力者への配布 ・領収書等募集資材の作成

1 4 録音・点字版社協さがみはらの発行

(自主) 884,369 円

広報紙「みんないいひと」全市版(年 6 回)・区版(年 3 回)の録音版(CD・テープ)、点字版を発行した。

1) 録音版の発行

○ 利用者数:83 名 行政機関等:15 か所

2) 点字版の発行

○ 利用者数:20 名 行政機関等:16 か所



1 5 マスコットキャラクターを活用した PR

マスコットキャラクター「にこまる」を活用し、わかりやすく情報を発信するとともに、子どもや若い女性に本会に関心を持ってもらうことを目的に PR 活動を行った。

- ブログ「にこまるの部屋」による情報発信
更新回数:62 回(台風第 19 号の情報提供を含む。)
- 着ぐるみイベント出演:13 回
地区社協ふくし祭り、福祉施設イベント等



1 6 寄付促進推進事業<重点的な取組>

寄付活動をはじめとした企業・法人の本業や持ち味を生かした活動の実践を、広報紙社協さがみはら「みんないいひと」及び本会ホームページ等に連載し、広く市民に取組を周知した。



② 地域福祉推進事業【社会福祉事業】

1 地区社協情報コーナーの設置

あじさい会館 1 階と南保健福祉センター1 階に専用の掲示板を設置し、22 地区社会福祉協議会の活動紹介を行った。

2 福祉情報ネットワーク推進事業

22 地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会の事務局において、小地域の支えあい活動を支援するための情報収集・提供を行った。

また、地区事務局の運営強化を図るため、インターネット環境の整備を進めた。

3 ご近所おむすびサポーターの推進

(補助・自主) 36,000 円

市民一人ひとりが地域の困りごとに気づき、受け止める意識を育むことを目的に、市民へのメッセージカードの募集、福祉体験講座受講した小学生へのおもいやりチャームの配布により「ご近所おむすびサポーター」を推進した。

- メッセージカード応募 317 人 (平成 24 年度からの累計 3,248 人)
- おもいやりチャーム配布 371 人

4 地域の支えあい応援事業 (地域福祉推進員の設置)

(補助) 89,073,521 円

22 地区に地域福祉推進員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を行うとともに、相談援助活動や福祉関係諸団体との連携等ネットワークの構築を図った。

5 地域の支えあい応援事業 (地域福祉支援員の設置)

(補助・自主) 26,549,745 円

21 地区に地域福祉支援員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を通じて活動の促進を図った。

6 地域の支えあい応援事業 (賛助会費の配分)

(自主) 13,875,124 円

地区社会福祉協議会の活動の充実・促進を図るため、地区で募集された一般賛助会費募集実績の 50%を 22 地区社会福祉協議会に配分した。

7 地域の支えあい応援事業（サロン活動支援事業）

（自主）27,500円

身近な地域での高齢者や障がいのある方、子育て期の保護者等の仲間づくりの活動を支援した。

サロン把握数

種別	サロン数
高齢者サロン	268 団体
子育てサロン	38 団体
障がい者サロン	10 団体
合計	316 団体

1) サロン活動の促進

- サロンへのレクリエーション用具の貸出し 実績 76 サロン
- ふれあい・いきいきサロンの状況を調査し、課題抽出及び関係者・一般市民への情報提供

2) 新規サロン立ち上げ支援

- 新規サロンの立ち上げの過程で、地区担当職員を中心に相談支援等を行った。

8 福祉コミュニティ形成事業＜重点的な取組＞

（補助）8,504,514円

市内 22 地区で地区社会福祉協議会を中心に取組まれる小地域の支えあい活動について、事業検討の場「地域福祉推進会議」の運営支援及び事業経費の助成により推進した。

22 地区の「福祉コミュニティ形成事業」主な取組

（単位：円）

	地区名	内容	助成金額		
			基盤整備費	事業継続費	総額
1	橋本	○ 活動拠点の運営、交流の場づくり ・ ふれあいの家「ぬくもり」の管理・運営 定例活動として「ぬくもり喫茶」や「百歳体操」、 「麻雀の日」、「子育てサロン」など各種交流事業を実施	540,000	—	540,000
2	大沢	○ 交流の場づくり ・ 大沢 comcom.com 会議 ・ こむこむ茶屋（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 健康マージャン（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 第 13 回大沢 comcom.com（歴史講座・落語）の開催 ・ 視察研修（宮の前テラス見学）	379	260,000	260,379

	地区名		助成金額		
			基盤整備費	事業継続費	総額
3	城山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 原宿なごまーる、若葉ほっこりーな、久保沢ふれあいカフェ、しろやまふれあい農園 ・ 愛・城ものがたり（地域食堂） ・ しろやまふれあい農園、愛・城ものがたりスタッフ合同交流会 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の困りごとを受け止めて解決する住民主体の活動 城山助けあい支えあいセンター（愛称 あい♥あいセンター） ・ 相談日（毎週水曜日）の開設 ・ 登録サポーターによるゴミ出し、買物等付添い、電球の交換、庭の手入れ、家事援助、家具の移動 など ・ 城山助けあい支えあいセンター運営委員会、コーディネーター会議の開催 	67,000	255,710	322,710
4	津久井	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小網ふれあいネットワーク」の運営 ・ 中央地域、青根地域での見守り活動実施 ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ サロン活動の推進 	100,000	235,256	335,256
5	相模湖	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき百歳体操サロン立ち上げ支援 ・ 健康マージャンサロン立ち上げ支援 ・ 「サロン会場」個人宅提供者への経費助成 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者による見守りの仕組み「みまもりネットさがみこ」の実施 ・ 助けあい活動「ちょこっとボランティア相模湖」実施 ・ とっさの時のあんしんケース（医療情報ケース）の配布・情報更新支援 ・ 「こんにちは赤ちゃん!さがみこ“ぬくもり”支援事業」の実施 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民相互の助けあいの仕組み「ちょこっとボランティア相模湖」の立ち上げ、事業実施 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て情報掲載「子育てマップ」の配布 	70,000	230,000	300,000
6	藤野	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 世代を超えた「たまり場」づくりを支援・助成 ・ サロン情報交換会開催 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民相互の助けあいの仕組み「おたがいさまネットふじの」の運営 ・ サポーター交流・研修会開催 ・ コーディネーター会議開催 	24,000	246,000	270,000

②地域福祉推進事業

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤整備費	事業継続費	総 額
7	小 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ほっとほっとカフェ」の実施（11回） ・ ほっとほっとカフェスタッフ全体会 ○ 相談窓口・個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おやま生活サポートセンター」の開設、運営 ・ 担い手育成「ボランティア講座」開催 ・ おやま生活サポートセンター全体会の実施 	26,355	200,000	226,355
8	清 新	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょこっとボランティアくらぶ」運営 ・ 新規登録者講習会、登録者向け研修会等開催 ・ 高齢者支援センターとの情報交換会 ・ 登録者向け「ちょこボラ便り」発行（年2回） ・ 生活支援体制整備事業「シニアサポート活動（訪問型）」を実施 	10,917	129,212	140,129
9	横 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくりと地域活動拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティよこやま「憩」運営 ・ お茶飲みおしゃべり会、ストレッチ体操、レクリエーション等実施 	220,497	120,301	340,798
10	中 央	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内5拠点（「ふれあいふじみ」、「ふれあいむらとみ」、「ふれあい相生」、「ふれあい相模原中央」、「ふれあいMYT（松が丘・弥栄・高根）」）での三世代交流事業の開催 ・ 地区内行事「子どもまつり」、「ふるさとまつり」での三世代交流コーナー設置 ・ 担い手を対象とした交流会の開催 	26,600	260,000	286,600
11	星が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「はやぶさ学習塾」による教員OB、民生委員、自治会、子ども会との連携による学習支援の実施 ・ 「いこいの広場」あらゆる世代の交流の場（地区内3か所）の開催 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょっと手伝い隊」ちょっとした困りごとを、住民同士で支えあい、助けあえる有償ボランティア活動の実施 	271,621	260,000	531,621
12	光が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘地区にぎわい処（食事やお話の場） ・ 光が丘ふれあいセンター「元気に歌いませんか?」、「元気に体を動かしませんか?」開催 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘サポート隊の実施 ○ 相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ サポートセンターの運営（週3回）（相談受付、ボランティア派遣・ボランティア養成） 	480,000	60,000	540,000
13	大野北	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり・相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「はやぶさカフェ大野北」開催 ・ はやぶさカフェ大野北 ボランティア情報交換会開催 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「お出かけ・配達便利マップ」の作成、検討 	—	260,000	260,000

②地域福祉推進事業

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
14	田 名	○ 相談窓口・個別ニーズ対応 ・ 「田名ボランティアセンター」 運営 ・ コーディネーター、サポーター対象「研修会・交流会」開催 ・ 「ボラセン通信」発行	540,000	—	540,000
15	上 溝	○ 活動拠点・交流の場づくり ・ 「ぶらっと上溝」運営 ・ 健康マージャン、折り紙教室等を実施 ・ 「みんなの食堂」「こどもクッキング」開催	540,000	—	540,000
16	大野中	○ 個別ニーズ対応 ・ 「おおのなかボランティアセンター」運営 ・ 「ボランティアセミナー」、「コーディネーター研修会」を開催	320,000	220,000	540,000
17	大野南	○ 交流の場づくり ・ 高齢者サロンの普及推進 ・ サロン推進委員会開催 ・ サロン運営者懇談会開催 ・ サロン通信発行 ・ 地区内のふれあいいきいきサロン（地域サロン）運営助成	280,000	17,400	297,400
18	麻 溝	○ 個別ニーズ対応 ・ 「ボランティアセンターあさみぞ」運営 ・ 「ボランティアセミナー」開催	480,000	60,000	540,000
19	新 磯	○ 「新磯見守りステーション」の設置 ・ 80 歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯等で見守りを希望する世帯をさり気ない見守りと声かけを実施 ・ 見守りグッズの配布、点検 ○ 「ちょこっとサポートしたい」の実施 ・ 高齢者や子育て世帯の日常生活でのちょっとした困りごとをすみやかにサポートする	68,252	260,000	328,252
20	相模台	○ 活動拠点・交流の場づくり・個別ニーズ対応 ・ 「サポートセンター楽らく」運営 ・ 登録サポーター向け「スキルアップ講習会」開催 ・ 登録サポーター向け情報提供「楽らく通信」発行	540,000	—	540,000
21	相武台	○ 活動拠点・交流の場づくり ・ 「ひだまり相武台」運営 ・ 住民が気軽に集い・交流の場「ひだまりカフェ」開催 ・ 地域活動団体部屋の貸出 ○ 見守り活動 ・ 「支えあい（愛）相武台」実施 ・ 相武台グリーンパーク・新磯野北班、相武台団地・新磯野南班、相武台前町内会・サンハイム・サンヴェルジュの3班による一人暮らし高齢者への定期訪問 ・ 運営委員会開催、各班による毎月班会議を実施	280,000	118,748	398,748

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
22	東 林	○ 交流の場づくり ・ 「東林いこいの広場（地区内3か所）」開催 ○ その他 ・ ボランティア講座「東林いきいき塾」開催 ・ 地区内中学生対象「ヤング防災ボランティア体験教室」開催	87,400	260,000	347,400
合 計			4,973,021	3,452,627	8,425,648

9 交通遺児援護事業

(補助・自主) 958,310 円

生活支援を目的に、交通遺児世帯へ見舞金・激励金の支給を行った。

神奈川県社協 見舞金・援護金の支給

支給金種類	対 象	金 額
激励金 (1人当たり 50,000 円)	中学校卒業 1人 高等学校卒業 1人	100,000 円
合 計		100,000 円

本会 交通遺児指定寄付金の配分

支給金種類	対 象	金 額
指定寄付金	8 人	856,000 円

10 南区地域福祉交流라운ジの運営

(補助) 13,599,354 円

南区内で地域福祉活動等に取り組む市民を対象にした相互交流及び福祉情報の提供等を目的とした施設の管理運営を行った。

開催する事業は、地域住民で構成する運営委員会が企画立案を担い、令和元年度は、広報事業として、地域の商業店舗や企業、薬局などに「福祉の掲示板」を設置し、ラウンジで行われている「福祉なんでも相談」や地域の福祉情報を広く市民に向けて発信した。また、昨年度より開始した車椅子の無償貸出しについても継続的に実施した。

1) 運営の概要

- 開設日数：327 日（利用休止日等を除く）
- 開設時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分
- 延べ来場者数：13,915 人・登録団体：53 団体
- スタッフ：相談員 1 人、補助員 8 人

2) 会議の開催

- 運営協議会：年1回、運営委員会：年2回、利用者懇談会：年1回、役員会：随時（年4回）

3) 通年事業の実施

- みんなのサロン：月2回、みんなのサロン コーヒーやさん：月2回
- みんなの子育てサロン「ぽっかぽか」：月2回
- にほんご教室：週1回
- 福祉なんでも相談：週1回
- ラウンジボランティア講座：年1回
- 県立相模原養護学校との協働（清掃活動：令和元年度は、2回）
- 季刊「ふくしラウンジ」の発行：年4回

4) 福祉の掲示板の設置

- 大野中（1）、大野南（8）、相模台（6）、相武台（3）、東林（6）

5) 企画展の実施

開催月日	内容
令和元年 8月1日（木）～8月15日（木）	「竹の子の会」活動紹介 ・ 利用登録団体「竹の子の会」主催の企画展 ・ ブラダー・ウィリー症候群という難病の子をもつ親の会が、病気や団体の活動内容をパネルで紹介
8月16日（金）～9月1日（日）	「相模原やまびこ会 作品展」 ・ 相模原市自閉症児・者親の会「相模原やまびこ会」主催の企画展 ・ 会員の絵や習字などの作品を展示
10月1日（火）～10月16日（水）	「赤い羽根ポスター展」 ・ 赤い羽根共同募金の昭和20年代のポスターを始め共同募金の歴史などを展示
10月25日（金）～11月14日（木）	「福祉ポスター展」 ・ 相模原市の福祉推進運動の一つとして行われている同ポスター展の巡回展 ・ 絵画や標語など入選作品18点を展示
11月15日（金）～11月29日（金）	「小さな図工室」 ・ 発達障がいやその疑いやある子を対象に、ボランティアで行っている絵画教室の作品展
令和2年 2月1日（土）～2月14日（金）	「さがみハート展」 ・ 精神障がいのある方が書いた詩と、その詩をテーマに描かれた絵を同時に展示する「さがみハート展」の巡回展
2月15日（土）～2月28日（金）	「失語症友の会作品展」 ・ 利用登録団体「失語症友の会」主催の企画展 ・ 会員が脳血管障がいによる麻痺や言語障がいのリハビリとして取り組んだ絵画や書などを展示

1 1 民生委員・児童委員研修事業

(委託) 1,200,000 円

民生委員・児童委員（定数：933 人（民生委員・児童委員 879 人 主任児童委員 54 人））を対象とした研修事業を実施した。

民生委員・児童委員研修実施状況

研修名	開催月日	受講者数
全体研修会	令和元年 6 月 10 日（月）	657 人
中堅委員等研修会 （3 区で開催）	11 月 11 日（月） 11 月 15 日（金） 11 月 25 日（月）	95 人
主任児童委員研修Ⅰ	6 月 21 日（金）	42 人
主任児童委員研修Ⅱ	10 月 28 日（月）	45 人
主任児童委員研修Ⅲ	令和 2 年 2 月 25 日（火）	46 人
新任委員研修Ⅰ	1 月 31 日（金）	199 人
新任委員研修Ⅱ （3 区で開催）	2 月 12 日（水） 2 月 18 日（火） 2 月 19 日（水）	304 人

1 2 ボランティアチャレンジスクールの開催

(補助・自主) 59,691 円

夏休み期間中の中学生・高校生を対象とした「福祉活動等体験講座」を実施した。

なお、相模原市市民活動中間支援施設連絡会【相模ボラディア（本会ボランティアセンター・さがみはら市民活動サポートセンター・さがみはら国際交流ラウンジ）】と相模原市青少年学習センターの協働により、福祉活動、国際交流、環境活動など多様な体験プログラムを設定して開催した。

スクールの概要

- 参加者：63 人（中学生 27 人・高校生 36 人）
- 体験受入施設・団体：54 か所



開催月日	内容
令和元年 7 月 21 日（日）	オリエンテーション
7 月 26 日（土）～8 月 18 日（日）	各受入施設・団体での活動体験
8 月 19 日（月）	まとめの会

1.3 福祉教育活動推進事業

(補助・自主) 629,215 円

1) 高等学校への福祉活動支援

高等学校が取り組む福祉活動の普及・啓発を目的に、地域住民や福祉施設、ボランティア等と連携・協力を行いながら、事業の企画の段階から実施までを支援し、高校生の福祉活動に対する意識の向上と参加の促進を図った。

ア 担当教諭個別相談会の開催

開催日：令和元年 11 月 11 日（月）～12 月 13 日（金）

内 容：次年度の取組や地区社協との連携について

実施校：6 校（県立相模原総合高等学校、県立津久井養護学校、県立城山高等学校、
県立相模原養護学校、県立相模原中央支援学校、県立弥栄高等学校）

イ 補助金交付対象校への支援

学校名	内 容	助成額
県立相模原総合高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設との交流 福祉コンサート 	37,410 円
県立津久井養護学校	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り 学校間交流 つくよう祭 等 	135,160 円
県立城山高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 福祉講演会 ひまわりクラブ人形劇公演 	70,000 円
県立相模原養護学校	<ul style="list-style-type: none"> 分教室での研修会 地域交流デー 桜美林大学との交流 	82,151 円
県立相模原中央支援学校	<ul style="list-style-type: none"> あそびの広場 地域環境整備事業 地域イベント交流 	89,861 円
県立弥栄高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいコンサート 2019 	31,900 円
合 計		446,482 円

2) みんないいひと体験講座の開催

主に小・中学生等を対象に、福祉体験講座の開催について講師派遣調整、物品貸出しを実施し、福祉に対する理解を深めた。

ア 講師の派遣調整等

実施校：80 校（小学校 55 校、中学校 22 校、高等学校 1 校
大学 1 校、養護学校 1 校）

参加者：9,231 人

地区団体等：12 団体



イ 物品貸出

車椅子：10校、高齢者擬似体験セット：24校

ウ 福祉教育実践担当教諭の支援

令和元年5月30日（木）開催「小・中学校における人権・福祉教育の担当者会（学校教育課主催）」において、みんないいひと体験講座の概要や申請方法の説明を行った。

3) 障がい児通学等送迎活動経費交付事業

ボランティアが取り組む障がい児の通学等送迎活動に対して、その費用の一部を交付した。

- 活動回数：400回、交付総額：120,000円

1.4 ふれあいデイホーム事業

（補助・共募・自主）7,320,419円

在宅の障がい児者を介護している家族等介護者が、休養や外出等で介護ができない場合に、相模原市南保健センター内に設置された「福祉支援室」において、障がい児者を昼間一時的に介護し、その世帯の援助を図った。

- 令和元年度末利用登録者数：301人
- 運営委員会の開催：令和2年3月27日（金）※本会評議員会にて予算承認

開設日数・利用者数等

区 分		人数等
年間開設日数		284日
年 間 延べ利用者数	18歳未満	556人
	18歳以上	305人
	合 計	861人
1日当たり利用者数		約3人

預り事由別内訳

区 分	人数	区 分	人数
保護者の疾病・入通院	20人	本人の学校関係	14人
介護・看護	5人	兄妹の学校関係	67人
冠婚葬祭	0人	その他	327人
公的機関・自治会等	8人	私的理由	400人
出産	0人	体験	20人
		合 計	861人

利用時間別内訳

区 分	人 数
半 日	362人
全 日	499人
合 計	861人

医療的ケア等申請実施状況

申請内容	申請者数	実施回数
経管栄養	8人	39回
吸引	1人	一回
てんかん発作時投薬	一人	一回
在宅酸素	2人	一回

15 インターネット等活用福祉情報提供事業

(共募・自主) 4,267,680円

電子メール等により市民をはじめ本会一般会員等から福祉講座や研修会、イベント等に関する情報を収集し、本会ホームページにより情報提供を行った。

16 地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)

(共募・自主) 22,343,079円

地区社会福祉協議会活動の充実・促進を図るため、運営費及び活動費の助成等を行った。

地区社協育成費補助金等交付状況

補助事業名		財源等	補助額
地区社協活動 推進事業	基礎事務事業費	年末助けあい配分金	7,920,000円
	共同募金活用費	共同募金配分金	4,500,000円
	人口等傾斜配分金	共同募金配分金	3,501,000円
	ボランティアグループ育成費	年末助けあい配分金	2,810,500円
特別育成費補助金		地域貢献型等自販機売上 手数料収入	2,348,977円
地域助けあいシステム事業助成		地域支えあい応援基金	400,000円
合 計			21,480,477円

17 災害見舞金の支給

(共募・自主) 625,000円

ア 火災等罹災世帯への見舞金の支給

災害見舞金支給状況

見舞金内容等	件数	支給金額
全焼(1件 20,000円)	3件	60,000円
半焼・半壊(1件 10,000円)	1件	10,000円
死亡(1件 20,000円)	1件	20,000円
合 計	5件	90,000円

イ 令和元年東日本台風に係る災害見舞金等の支給

甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風への被災者に対して、相模原市及び地区社会福祉協議会と連携し、見舞金等の支給を行った。

令和元年東日本台風見舞金等支給状況

見舞金内容等	件数	支給金額
死亡（1件 10,000円）親族へ	8件	80,000円
重傷者（1件 5,000円）	1件	5,000円
家屋全壊（1件 10,000円）	20件	200,000円
家屋半壊（1件 5,000円）	45件	225,000円
合計	74件	510,000円

18 就職支度費等一時給付事業（生活困窮者世帯就職活動応援事業）

（共募）104,413円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、就職等による自立を志向する世帯を支援するため、就職活動及び就職後に直接必要な物品の給付を行った。

- 給付対象：3世帯

就職支度費等一時給付事業給付状況

	給付内容	給付額
1	面接用・作業用洋服代、自転車等	65,863円
2	交通費	38,550円
	合計	104,413円

19 食料品等緊急一時給付事業

（共募）91,665円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、生活福祉資金等の貸付決定や給与・公的給付等収入日まで（おおむね1週間以内）の間、生活を維持するための食料品の確保が困難な世帯を対象に食料等の給付を行った。

- 給付対象：17世帯（31人分・延べ80日間分）

20 生活困窮者支援団体応援事業＜重点的な取組＞

（共募）1,431,426円

市内の生活困窮者の社会参加や自立生活の促進を目的とした活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：8団体
- 助成金額：1,427,028円
- 主な助成対象事業：就労準備支援や社会参加の場づくり、フードバンク等

2 1 子ども健やか育成事業<重点的な取組>

(共募・自主) 6,159,436 円

市内の福祉的課題を抱える子どもたちの居場所づくり等の活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：27 団体（うち、新規申請団体 9 団体）
- 助成金額：5,994,585 円
- 主な助成対象事業：子ども食堂、無料学習支援、学校の長期休暇中の居場所づくり

2 2 子どもの居場所創設サポート事業<重点的な取組>

(委託) 4,000,000 円

無料学習支援や子ども食堂など、地域で展開する子どもの居場所づくりを推進するため、必要な情報の提供、活動の周知や運営に関する相談など地域住民が活動しやすい環境づくりを進めるために、以下の事業を実施した。

1) 子どもの居場所づくりセミナー

地域で展開する子ども食堂や無料学習支援等、ボランティアや住民が運営する子どもたちの居場所づくりについて、開設・運営を進めるために必要な情報の提供や立ち上げなどを応援するために実施



① 子どもの居場所づくりセミナー「無料塾立ち上げ編」 開催状況

	開催月日・会場	内 容	受講者数
1	令和元年 6 月 23 日 (日) ソレイユさがみ	公開セミナー「なぜ、今無料塾なのか」 ・講義：無料塾の意義や活動にかける思い、支援者を増やすには (講師：八王子つばめ塾理事長 小宮位之氏) ・質疑応答	28 人
2	7 月 7 日 (日) ソレイユさがみ	無料塾立ち上げゼミ ～子どもたちの伴走者になろう～① (講師：八王子つばめ塾理事長 小宮位之氏) ・参加者自己紹介、参加動機発表 ・講義：無料塾立ち上げノウハウについて ・参加者情報交換	12 人
3	7 月 15 日 (月・祝) ソレイユさがみ	無料塾立ち上げゼミ ～子どもたちの伴走者になろう～② ・講義：無料塾立ち上げや運営上の留意点 (講師：八王子つばめ塾理事長 小宮位之氏) ・無料塾立ち上げ計画の発表と意見交換 ・ワーク「明日から子どもたちのためにできること」 ・講評とまとめ、情報交換	10 人

②子ども居場所づくりセミナー「みんなでつくろう！子どもの居場所～子ども食堂編～」

開催状況

	開催月日・会場	内 容	受講者数
1	令和元年9月3日(火) ソレイユさがみ	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の基礎知識、行政施策説明 市内の事例紹介(くすのき広場、マリ・いこいの家) 参加者交流と情報交換 	32人
2	9月25日(水) あじさい会館	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の基礎知識、行政施策説明 市内の事例紹介(みたけ子ども食堂、西門こどもレストラン) 参加者交流と情報交換 	23人
3	10月28日(月) ユニコムプラザさがみはら	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の基礎知識、行政施策説明 市内の事例紹介(お母さんたちのしゃべり場昼ごはん付き、上溝にこにこ子ども食堂) 参加者交流と情報交換 	33人

③子ども居場所づくりセミナー「学生×(かける)子どもの居場所セミナー～まずは知る編～」

開催状況

	開催月日・会場	内 容	受講者数
	令和元年11月22日(金) 青山学院大学相模原キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> 講演「子どもの居場所とは?～子どもの居場所に学生が関わること～」 (講師:特定非営利活動法人サードプレイス代表理事 須田洋平氏) 事例報告(こども食堂 peco) ワークショップ:情報交換&つながり作り 	6人

2) 子どもの居場所総合相談窓口

居場所を立ち上げ、運営する団体の支援のため、本会(中央ボランティアセンター)に相談窓口を設置し、新規開設等に係る問合せ、相談対応を行った。

- 相談員:1人配置
- 相談件数:延べ1,602件(うち、新規立ち上げ相談件数:22件)

2.3 相模原市立視覚障害者情報センター窓口業務等(令和元年度末で受託終了)

(委託) 5,481,960円

視覚に障がいのある方に対して、点字図書・録音図書等センター蔵書の貸出し、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を活用した全国の点字図書館との相互貸借等により情報保障等を行った。あわせて、市内図書館の蔵書図書の相互利用にも対応した。

- センター窓口業務を担当する非常勤職員:1日当たり2人配置

2.4 市民活動育成支援事業

(自主) 1,808,483円

1) 市民活動団体への助成

当事者活動及びボランティア活動の支援を目的に、障がい児者・高齢者・子ども・難病患者等の福祉課題に取り組む団体に対する活動助成を行った。

- 団体設立準備経費助成：助成対象2団体、助成総額 84,737円
- 当事者団体・ボランティアグループ等活動助成：助成対象19団体、助成総額 1,705,689円

2) ボランティアセミナー

市民のボランティア活動を促進するため、活動紹介、活動の心構え、車椅子体験など活動の基礎を中心に本会職員による講習会を実施した。

- 開催回数：20回（会場：緑区合同庁舎、あじさい会館、南保健福祉センター等）
- 受講者：108人

3) 各種ボランティアセミナー

「地域福祉活動の新たな担い手の発掘と連携」を実現するためにボランティア及び地域福祉活動に関するセミナーを実施した。

- 開催回数：2回（大学・企業：2回）
- 受講者：69人

4) 市民まつり「ふれあい・ふくしブース」

「第46回相模原市民若葉まつり」にて、福祉の担い手となるボランティアグループ等が、市民への活動のPR、団体間の交流促進を目的に実施した。

- 日時：令和元年5月11日（土） 午後1時～5時
5月12日（日） 午前10時～午後5時
- 場所：けやき会館横 本会公用車駐車場
- 参加団体数：11団体



25 ボランティアセンター運営事業

(補助・自主) 7,348,007円

1) 緑・中央・南ボランティアセンターの管理運営

- 活動把握ボランティアグループ：145 団体
- ボランティアセンター非常勤職員：8 人配置

相談件数の状況

区 分	件 数
ボランティア活動相談件数	544 件
ボランティア依頼相談件数	445 件
その他相談件数	626 件
合計	1,615 件

ボランティア依頼内容

区 分		件 数
個人	通院介助	4 件
	学校・保育園送迎	11 件
	外出介助	6 件
	話し相手・見守り	62 件
	清掃関係	8 件
	その他	16 件
団体	レクリエーション指導	6 件
	日課活動補助	46 件
	イベント支援	106 件
	パフォーマンス披露	408 件
	その他	287 件
合計		960 件

2) 相模原市市民活動中間支援施設連絡会（相模ボラディア）

市内の市民活動中間支援施設の連携・協働を進めるために、定例的に会合を行い情報共有・協働事業の企画を行った。（年6回開催）

- 加入施設：本会ボランティアセンター、さがみはら市民活動サポートセンター、さがみはら国際交流ラウンジ
- オブザーバー：相模原市立青少年学習センター

3) ボランティアグループ活動等調査

ボランティアグループの活動状況を調査し、窓口での紹介及び「相模ボラディア（市民活動団体情報検索）」におけるウェブサイトでの情報提供を行った。

4) 通年ボランティア募集状況の調査

高齢者・障がい者施設、保育園等にボランティア受入状況調査を実施し、夏休み期間中等にボランティアを希望する中学生や高校生等に活動に関する情報提供を行った。

5) 南区ボランティア団体コーディネーター研修

南区で個別ニーズに対応しているボランティア団体を対象に、コーディネーター業務に必要な視点や手法について具体的な事例を通してスキルアップを図る機会として、コーディネーター研修を開催した。

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和元年12月4日(水) ユニコムプラザさがみはら	講演「コーディネートの必要性」 ・ボランティア活動の意義 ・ボランティア・コーディネートの必要性 ・ボランティア・コーディネートの実際 (講師：相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科 松崎吉之助准教授) ・グループワーク	26人

2.6 いるかバンクの運営

(自主) 496,123円

ボランティア活動の促進を目的に、趣味や特技を基本としたボランティア登録制度「いるかバンク」を運営し、登録者に活動情報の提供を毎月行い活動機会の充実を図った。

- 登録者数：687人
- 活動者数：延べ8,554人

1) いるかバンク通信の発行(年12回)



2) 公式LINEアカウントの活用によるボランティア活動情報の提供

新たな情報発信ツール公式LINEアカウントを活用して、ボランティア活動情報等の提供に取り組んだ。

3) いるかバンク登録者交流会（いるカフェ）と施設見学の開催

「いるかバンク登録者」、「田名ボランティアセンター登録者」を対象に、登録者相互の交流・情報交換、ボランティアセンターからの情報提供等を目的に「いるカフェ」を開催した。また、障がい者福祉施設見学会の後、情報交換会を行い、やりがいや喜び、活動に際しての悩みを共有した。

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和2年2月18日（火） 社会福祉法人県央福祉会 パステルファームワーキングセンター	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学 情報交換会 ボランティア活動の感想等 	14人

2.7 防災ボランティア推進事業

（補助・自主）188,432円

1) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 主催 相模原災害ボランティアネットワーク（本会共催）

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和元年6月15日（土）・16日（日） 南保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に開設されるボランティアセンターの運営について （講師：相模原災害ボランティアネットワーク会員） 	4人

2) 災害ボランティア活動訓練

相模原市総合防災訓練（第40回九都県市合同防災訓練相模原市会場）の一環として、災害ボランティア活動への意識の高揚を図ることを目的に、ブースを設置した。「自主防災隊の出発準備・帰着受入体験」、熱中症対策の飲料水配布を仮想のニーズとした「災害ボランティアセンター運営訓練」、災害時に役立つ「資材展示」を実施した。訓練に参加した自主防災隊に対して、「受援力」についての資料を配布し、地域での取組みを促した。相模原災害ボランティアネットワークと協働し市民ボランティアの参加を得て実施した。

- 開催月日：令和元年9月1日（日）
- 会 場：相模原総合補給廠一部返還地
- 参加者：17人

3) 「防災力アップ講座」の開催

令和元年東日本台風の発生を受けて設置した「相模原市災害ボランティアセンター」の活動報告と、講師の講義を通して、災害に強い地域づくりのために、市民が平時からできることや、ボランティアセンターの機能について学ぶ機会を作るために、「防災とボランティア週間」の時期に合わせて開催した。

- 共催：相模原災害ボランティアネットワーク、後援：相模原市

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和2年1月14日（火） 相模原市民会館	第1部「相模原市災害ボランティアセンター活動報告」 相模原市社協職員による、3地区における災害ボランティアセンターの活動報告 第2部「支援力と受援力 ～私たちが日ごろからできること～」 (講師：Nukiito 代表 高山弘毅氏) 第3部 質疑応答	79人

4) 市内自治会等防災訓練への協力

相模原市からの依頼に基づき、自治会等が実施する防災訓練において災害時要援護者支援訓練等への職員派遣及び訓練用資機材の貸出しを行った。

- 派遣件数：15件・派遣職員数：延べ30人
- 訓練用資機材（車いす、段差）の貸出

2.8 災害ボランティアセンターの運営＜重点的な取組＞

（補助・共募）7,198,417円

令和元年東日本台風による緑区を中心とした甚大な被害に対し、災害ボランティアによる支援の受け入れのため、相模原市との災害時における協定に基づき相模原市からの要請を受け、災害ボランティアセンターを設置した。

- 設置期間：令和元年10月17日（木）から12月12日（木）まで
- 設置場所：津久井地区センター（津久井総合事務所内）
相模湖地区センター（相模湖総合事務所内）
藤野地区センター（藤野総合事務所内）
- 依頼相談件数及びボランティア活動者数

依頼相談件数（延べ件数）		ボランティア活動者数（延べ人数）	
地区名	件数	地区名	人数
津久井	134件	津久井	1,987人
相模湖	37件	相模湖	752人
藤野	56件	藤野	715人
合計	227件	合計	3,454人

- 主な依頼内容
居宅内に流入した土砂の片づけ、土砂の流入予防、ブルーシート張り、家財の移動等

- 運営協力：公益社団法人津久井青年会議所、津久井商工会青年部、相模湖商工会青年部、藤野商工会青年部、相模原市赤十字奉仕団、公益社団法人相模原青年会議所、神奈川県社会福祉協議会、県内市区町村社会福祉協議会、支援プロジェクトチームほか



- 12月13日（金）より、城山地区を加えた4地区にささえあいセンターを移行設置

2.9 ボランティア協会活動助成

（自主）1,580,000円

相模原ボランティア協会の運営及び活動に対する助成を行った。

1) ハンディキャブ号の運行

- 活動件数：796件 利用者数：延べ1,133人
- 活動運転ボランティア：延べ796人 活動介助ボランティア：延べ8人

2) ボランティア養成講座の開催

ア 基礎講座

開催月日：令和元年7月6日（土）・7月13日（土）・20日（土）

内 容：障がいの理解をテーマとした講義、障がい者介助体験等

受講者：26人

イ コース別講座

開催月日：令和元年7月から11月まで

コース内訳：外出援助・高齢者支援・音声訳・福祉車両

受講者：27人

30 地区住民相談支援活動推進事業<重点的な取組>

(補助・自主) 1,000,708円

地域の支えあい活動や相談支援活動をより効果的に進めるための専任担当者として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内全22地区に配置し、「個別支援（既存の制度だけでは対応困難な個別ニーズの把握と相談支援）」及び「地域支援（地域の支えあい活動の推進、専門機関等との連携体制の構築等）」に取り組んだ。

また、「自立支援一時給付事業」により、個別支援において把握した生活困窮者の生活基盤確保に要する経済的な支援や「地域支えあい活動応援事業」、「高齢者生活支援体制整備事業」において把握された福祉課題解決に取り組む活動に対して助成を行った。

CSWによる支援の状況

	実相談件数	延支援回数
個別支援	296件	3,493件
地域支援		16,418件

1) 個別支援

ア 相談支援の状況

延べ「個別支援」対象別相談内容

内容	件数	内容	件数
高齢	128件	外国籍	8件
身体障がい	26件	疾病	36件
知的障がい	20件	無職	25件
精神障がい	64件	ひきこもり等	28件
発達障がい	5件	依存症	6件
一人親	9件	その他	18件
子ども	14件	不明	7件
合計			394件

延べ「個別支援」課題別相談内容

内容	件数	内容	件数
認知症	24件	虐待・DV	19件
経済的困難	78件	精神的不安	49件
家事等困難	21件	孤立	59件
介護	16件	近隣トラブル	44件
就労	15件	偏見・無理解	8件
ごみ問題	23件	社会資源不足	8件
住居問題	21件	金銭管理	26件
ひきこもり	38件	その他	102件
出産・子育て	12件		
合計			563件

イ 自立支援一時給付事業

給付件数：1件（総額35,200円）

- 障害年金申請に係る費用（社会保険労務士申請代行ほか）

2) 地域支援

ア 地域支援の状況（実践事例）

- ひきこもりの若者の社会参加のきっかけとして、地区社協居場所活動へのボランティア参加の調整
- 地域の商店、介護保険事業所等の協力による健康づくりのためのポイントラリー「新磯健康ポイント（AKP48）」の実施支援
- 買物支援と地域の見守り合いを目指し、企業と連携した“移動販売”実現に向けた取組支援
- 地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会に対し、CSW の取組を報告し課題を共有。CSW 通信の作成と発行
- ホームレスの方への福祉的な対応を進めるために地域住民、小学校、民生委員・児童委員、警察、相模原市等で話し合いの実施



イ 地域支えあい活動応援事業

助成件数：2 団体（総額 140,000 円）

- 空き家を地域活用した高齢者向けサロン「つどいの家ケセラセラ」の立ち上げ支援（光が丘地区）
- ひきこもりがちな方への社会参加の場「田名ふれあい交流農園」の開設準備（田名地区）



3) 市域全体での取り組み

- CSW 勉強会の開催
テーマ：海外にルーツのある世帯の現状について
- CSW 実践報告集の作成
- CSW 信条の作成
- 総合情報システム「こころ」の導入による市社協内での情報共有化・連携

3 1 高齢者生活支援体制整備事業＜重点的な取組＞

(委託) 54,135,000 円

市内 29 日常生活圏域に「生活支援コーディネーター」を配置し、各圏域の高齢者支援センターとの連携・協働により、介護予防・日常生活支援総合事業による高齢者を支える仕組みづくり等を「地域づくり部会」の運営支援を通じて取り組んだ。

市内 29 圏域の「高齢者生活支援体制整備事業」主な取組

	圏域名	内 容	地域づくり部会開催回数
1	橋 本	○ 居場所づくり ・ 通所型シニアサポート活動 (2 か所)、訪問型シニアサポート活動 (1 団体)、百歳体操 (5 か所) を新たに立ち上げ	3 回 (1 回中止)
2	相 原	○ 担い手づくり ・ ボランティアグループリーダー研修「やっと見つけた！手ごたえのある生き方」開催 (55 名参加) ・ 「ボランティアで自分を生かす 地域デビュー講座」開催 (39 名申込・感染症拡大防止のため中止) ○ 調査活動 ・ 「老人クラブの活動調査」実施	
3	大 沢	○ 居場所づくり ・ 通所型シニアサポート活動 (1 か所)、百歳体操 (2 か所) を新たに立ち上げ ○ 調査活動 ・ 「高齢者生活ニーズ調査」実施 ○ 部会活動情報紙「おおさわの風」2 回発行	4 回
4	城 山	○ 外出支援 ・ 外出支援検討の場「お出かけの”わ”委員会」の開催 (月 1 回) ・ 社会福祉法人城山楽寿会の協力による高齢者等サロン参加者送迎の実施 ○ 見守り活動 ・ しるやま声かけネットワークの取組等、地域での高齢者の見守りについての検討	3 回 外出支援検討委員会 「お出かけの”わ”委員会」 10 回
5	津久井	○ 居場所づくり ・ 「百歳体操」(8 か所) を新たに立ち上げ ○ 部会活動情報の提供 ・ 「チーム串川だよりのNo.3」の発行	3 回 3 地区で部会を開催
6	相模湖	○ 居場所づくり ・ 百歳体操 (1 か所)、麻雀教室サロン (2 か所) を新たに立ち上げ ○ 生活支援 ・ 「ちょこっとボランティア相模湖」試行実施	4 回
7	藤 野	○ 外出支援・買物支援 ・ 「藤野台課題検討会」の開催、地域課題を検討 藤野台住民の移動外出支援として障害がい者施設の車両で買物ツアーを月 2 回実施。併せて「ももちゃんサロン」が立ち上がり買物後のサロンを実施 ○ 見守り活動 ・ 地域のゆるやかな見守りの自治会説明 商店・事業所等の見守り推進に向け、26 店舗にステッカーの配布とアンケートを実施	4 回 藤野台課題検討会 12 回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
8	小 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな担い手の発掘・育成方法について検討 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援に対応する組織、仕組みづくりについて検討 ○ 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり部会だより発行 ○ 移動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな地域課題として、移動支援について検討をスタートさせた。 	4回
9	清 新	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアサポート活動（通所型）「ひばり百歳体操と麻雀の会」を新たに立ち上げた ・ 「百歳体操」を15か所で実施 ・ 「サロン・ボランティアグループ連絡会」を開催し、事業所職員とサロン主宰者との意見交換会を行った ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょこボラ」がシニアサポート活動（訪問型）を実施 ○ 担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「サロン・ボランティアグループ連絡会」や「住民説明会」、福祉講座等の参加者をボランティア活動者リストとして管理し、随時情報提供ができる状況を整備した ・ 令和元年度清新地域づくり部会報告書の作成 ・ 「住民説明会」開催（圏域内6か所・80名参加） 	6回
10	横 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「移動販売」の仕組みづくり検討 ・ 駐車場所の選定や地区内PR活動を実施 ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ サロン(2か所)、シニアサポート活動通所型（1か所）を新たに立ち上げ ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「お出かけカレンダー」発行 	5回 作業部会 2回
11	中 央	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「西門・喫茶ノスタルジー」、「松ヶ丘園・麦の穂」を活用した居場所開催 ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小地域のお出かけマップ」作成の実行委員会を相栄地区、相模原中央千代田地区で開催。マップを部会だよりとして発行 ・ 他地区（清新）との情報交換会を開催 	4回 作業部会 8回
12	星が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ シニアサポート活動（訪問型）の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 星が丘地区社協「ちょっと手強い隊」発足 ○ 地域における見守り体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あなたも今日から星が丘地区の見守りサポーター」冊子&バッジ作成 ・ 見守りサポーターと見守りが必要な人への講座検討 ○ 地域の人材発掘 <ul style="list-style-type: none"> ・ 星が丘地域づくり部会だよりとチラシによる人材バック登録書の周知 	5回 作業部会 4回
13	光が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 百歳体操の推進 ○ 買物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘買物お助け隊の活動支援・課題対応 	3回 作業部会 14回
14	大野北 第1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所づくりに関する講座開催に向けての検討 ・ 自治会を対象に居場所づくりに関するアンケートを実施 	5回
15	大野北 第2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な居場所を掲載した通信の作成と全戸へのポスティング 	

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
16	田 名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おしゃべりサロン」、「百歳体操」、「通所型シニアサポート活動」の継続支援 ・ ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を地区社協・老人クラブ・公民館と協力し、推進 ・ 農作業の場「田名ふれあい交流農園」開設準備（ボランティアグループ「田名畑の会」設立） ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が参加できる「田名いきいきマップ」作成及び配布 	4回
17	上 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「高齢者相談つなぎの家」実施 ○ 外出支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイザーを招き他地区の取り組み事例を知る。課題について検討 ○ 認知症高齢者を地域で支えるために <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えられる取組について意見交換を実施 	5回
18	大野中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「百歳体操」（2か所）を新たに立ち上げ ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 古淵地区在住の高齢者を対象に「困りごとアンケート調査」実施 ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民情報の情報収集、発信 ○ 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「～みんなつながる～おおのなかでできること宣言」協力事業所（8か所） 	4回
19	大 沼	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民活動の訪問と情報の収集・発信 ○ 見守りの啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大沼公民館祭りにて「みまもりあいプロジェクト」を活用した「高齢者捜索模擬訓練」を実施 ・ 老人福祉センター「若竹園」活動団体を対象に、居場所づくりのための「アンケート活動調査」を実施 	4回
20	大野台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢、障がいの分野を越えた「共生カフェ」実施に向けて検討 ○ 買い物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物支援がとくに必要と想定される3自治会を対象にニーズ把握・担い手募集のアンケートを実施。 ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民活動の情報収集・発信 	3回 (4回目中止)
21	大野南	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 相模女子大学と認知症家族の会代表主催の「認知症カフェ」立ち上げ及び運営支援 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「大野銀座商店街」との連携による見守り活動の啓発 ・ 相模大野図書館と連携した「認知症サポーター養成講座」開催、「情報発信コーナー」設置による啓発 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ロビーシティ相模大野」に住む高齢者に向け、お役立ち講座を通じたニーズ調査・関係形成 ・ 小地域に分けた話し合いを計画し、2地区でニーズ共有や課題検討を実施 	3回 (1回中止)

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
22	上鶴間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間交流の機会をつくる取り組みとして、「落合三世代交流サロン」視察と「谷口サロン」で世代間交流イベントを試行 ○ 地域情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議報告を目的とした地域住民との情報交換会を実施 	4回
23	麻 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外出支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者移動推進モデル事業へ応募、移動に関わるニーズ調査及び協力者の募集を目的としたアンケート調査を実施 ○ 居場所づくり ○ 高齢者サロン等、地域活動の意義や担い手確保を目的とした担い手養成講座を開催し、107名が参加 	5回 作業部会2回
24	新 磯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既にある地域内の買物支援の取組について情報収集を行い、お買物情報紙を発行 ○ ささえあいの仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「車の運転に頼らない生活を考える」講座を開催し、免許返納の仕組みや身体の変化について地域全体で研修 ・ 介護保険事業所等連絡会による徒歩での外出支援として、ベンチの設置や新磯健康づくりポイント事業を実施 	4回
25	相模台 第 1	<p><相模台第1・相模台第2 合同></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉事業所等と連携した居場所「ふらっと相模台」の実施(6か所) ・ 外出時の休息に活用する「ベンチ」の事業所、店舗等の設置促進(設置趣旨表示「ステッカー」配布等) ・ 高齢者の運動や外出促進を目的とした健康講座及びスタンプラリーの開催 ○ 部会情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域づくり部会だより」の自治会配布 	合同 3回
26	相模台 第 2	<p><相模台第1></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチや福祉の掲示板の設置等、サウザンロード商店街と連携して各店舗への理解と協力を働きかけ、実施 ・ 独居高齢者の自宅の鍵を預かる仕組みについて、ニーズの把握を行うことを目的に民生委員やケアマネジャーを対象にアンケートを実施 ・ 地域の住民が把握している「気になる高齢者」を専門機関と共有する場づくりの実施 <p><相模台第2></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相模原市歯科医師会と連携し、オーラルフレイン(お口の中の僅かな衰え)予防の地域啓発活動を実施 ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 孤食予防を目的とした「HOT ランチ」を2会場で月1回開催 ○ 買い物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相模台団地及びその周辺の高齢者に対する買物支援に向け、団地内での野菜販売会を試行的に実施 	相模台第1 2回 相模台第2 2回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
27	相武台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相武台 1～3 丁目、相武台団地 1～2 丁目を対象に、地域活動の担い手不足解消を目的とする「相武台やってみよう！アンケート」調査を実施 ○担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答において、地域活動を希望され、名前を挙げていただいた方を「やってみよう！サポーター」と名付け、地域福祉活動の情報提供を実施。 スポーツをきっかけに地域活動に関わってもらえるような企画を検討 	4 回
28	東 林 第 1	<ul style="list-style-type: none"> <東林第 1・第 2 合同> ○ 介護予防 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東芝林間病院、いろは堂薬局と連携した介護予防啓発講座「心も体も元気アップ講座」の開催 ○ 部会情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域づくり部会通信」を発行し、「高齢者のためのおでかけマップ」ラジオ体操等屋外活動や、遊歩道、ベンチ、トイレなどを閉じこもり予防の情報を紹介 	合同 1 回 (1 回中止)
29	東 林 第 2	<ul style="list-style-type: none"> <東林第 1> ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ マンション自治会を対象に、ヒアリング調査を実施し、高齢者の居場所、課題把握を実施 ○孤立しがちな方への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東芝林間病院、かもめ薬局と連携し「フットケア相談会」の計画 <東林第 2> ○社会的孤立の防止 <ul style="list-style-type: none"> ・ 80・50 問題が長期化・深刻化しないための地域の役割についての検討 	東林第 1 2 回 東林第 2 2 回 (1 回中止)

③ あんしんセンター事業

従来から取り組む権利擁護事業に併せて、成年後見制度の利用促進事業の強化を図ることを目的に、「さがみはら成年後見・あんしんセンター」にて、権利擁護に係る総合的な事業推進に取り組んだ。

1 法人後見事業＜重点的な取組＞

(自主)5,527,200円

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、家庭裁判所の審判による成年後見人等として、被後見人等の財産管理及び身上保護等の法定後見業務を行った。

初回相談・継続相談件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
初回相談	1 件	1 件	－件	－件	－件	2 件
継続相談	－件	3 件	－件	－件	－件	3 件

支援件数

内 容	件 数
訪問等による直接支援	524 件
訪問以外の相談、連絡、調整等	1,940 件

受任件数（令和2年3月末）

類 型	認 知 症 高 齢 者 等	障がい者		合 計
		知 的	精 神	
後 見	14 件	2 件	2 件	18 件
保 佐	2 件	4 件	4 件	10 件
補 助	－件	－件	－件	－件
合 計	16 件	6 件	6 件	28 件

権利擁護事業審査会の開催

回 数	内 容
年 5 回	後見等受任の適否の審査及び事業全般に係る重要事項について検討 ※令和2年3月26日（木）第6回権利擁護事業審査会は、開催を中止し書面での審査に変更

○ 職員体制：法人後見専門員 3人

2 権利擁護事業＜重点的な取組＞

1) 日常生活自立支援事業

(補助・自主) 26,436,319円

判断能力が不十分な障がい者・高齢者のために、福祉サービスの契約手続や日常生活費の出し入れ、公共料金等の支払代行、定期預金通帳などの重要書類の預りを行った。また、毎月第4火曜日に、弁護士による人権や財産に関する権利擁護相談を実施した。

相談援助件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
問合せ	15 件	1 件	3 件	2 件	－件	21 件
初回相談	55 件	2 件	21 件	7 件	－件	85 件
相談援助	2,794 件	795 件	3,405 件	99 件	6 件	7,099 件
合 計	2,864 件	798 件	3,429 件	108 件	6 件	7,205 件

利用契約者数（令和2年3月末）

区 分	認知症 高齢者等	障がい者			その他	合 計
		知 的	精 神	身 体		
① 福祉サービス利用援助・ 日常的金銭管理サービス	52 人	23 人	57 人	6 人	1 人	139 人
② 書類等預かりサービス	2 人	8 人	5 人	2 人	－人	17 人
③ ①②サービスの両方契約者 (利用者数は、重複)	2 人	4 人	5 人	1 人	－人	12 人
実利用者数(令和2年3月末)	52 人	27 人	57 人	7 人	1 人	144 人

権利擁護相談件数

内 容		高齢者	障がい者			合 計
			知 的	精 神	身 体	
財産 関係	相続・遺言	18 件	－件	4 件	－件	22 件
	財産管理	3 件	－件	－件	1 件	4 件
	金銭・消費契約	4 件	－件	1 件	－件	5 件
	婚姻・離婚	2 件	－件	－件	－件	2 件
人間関係	その他	1 件	－件	－件	－件	1 件

権利擁護関係	成年後見制度全般	1件	－件	－件	－件	1件
	法定後見制度	2件	－件	－件	－件	2件
	任意後見制度	1件	－件	－件	－件	1件
	その他	1件	－件	－件	－件	1件
合計		33件	－件	5件	1件	39件

権利擁護事業審査会の開催

回数	内容
年5回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討 ※令和2年3月26日(木)第6回権利擁護事業審査会は、開催を中止し書面での審査に変更

権利擁護事業内部審査会の開催

回数	内容
年8回	審査会で諮るべき事案に当てはまらない新規案件について、契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等の検討

職員研修会の開催

開催月日	参加人数	内容
令和2年2月17日(月)	17人	「高齢者・障がい者の消費者トラブルと見守りについて」 講師 市民局消費生活総合センター 相談員 対象者 専門員・生活支援員等

普及啓発事業等

区分	内容
あんしんセンター事業説明会	あんしんセンターの利用促進を目的に、高齢者支援センター等と連携し、研修会等の中で事業説明を実施
あんしんサポーター制度の実施	現登録者 7人(市民後見人養成研修修了者が対象) 活動実施回数 計15回 養成研修修了者の意欲等の向上を図り、日常生活自立支援事業利用者の社会関係をより豊かにすることを目的に、成年後見人等を受任するまでの間、権利擁護に係るボランティアとして活動する場を提供

- 職員体制：あんしんセンター専門員6人、あんしんセンター生活支援員7人

2) 成年後見制度利用促進事業

(補助・自主) 4,461,684 円

福祉・法律の専門職等の権利擁護に関わる関係団体とのネットワーク構築を進め、成年後見制度の周知・普及啓発、相談支援等により制度の利用支援を図った。

ア 成年後見制度に関する相談の実施

職員対応による一般相談

認知症 高齢者等	障がい者			その他	合計
	知的	精神	身体		
177件	31件	54件	15件	41件	318件

相談の種類

相談種類		合計	相談種類		合計
後見制度 利用前相談	制度内容	123件	後見制度 利用後相談	財産管理	8件
	申立て手続	127件		身上保護	5件
	講座・研修依頼	6件		その他	7件
	その他	2件		小計	20件
	小計	258件	その他	40件	
			合計	318件	

イ 成年後見専門相談の実施

月4回、親族後見人や福祉施設等の職員として成年後見制度に関わる方を対象に、司法書士等による成年後見制度や成年後見人等の業務に関する相談を実施

○ 相談件数：77件

ウ 成年後見制度等の説明会への講師等派遣

地域で開催される講座や説明会に専門職講師の派遣等を行い、制度の普及啓発を実施

① 専門職講師派遣

○ 派遣回数：2回、参加人数42人

② 職員による出前講座

○ 説明回数：8回、参加人数160人

エ 成年後見制度に関する市民公開講座の実施

年3回、市民を対象に成年後見制度に関する講座及び専門職による無料相談会を実施

市民公開講座開催実績

	開催区	開催月日	開催場所	一般参加者	
					無料相談会参加
第1回	中央区	令和元年10月26日(月)	ウェルネスさがみはら	47人	20人
第2回	南区	令和元年11月9日(月)	南保健福祉センター	52人	17人
第3回	緑区	令和元年12月7日(月)	緑区合同庁舎	26人	9人
合 計				125人	46人

無料相談会対応専門職実績

	専門職					合計
	弁護士	司法書士	行政書士	社会福祉士	税理士	
第1回	2人	6人	8人	8人	2人	26人
第2回	2人	2人	12人	7人	1人	24人
第3回	2人	4人	7人	8人	2人	23人
合 計	6人	12人	27人	23人	5人	73人

3 市民後見人養成事業

(委託) 11,126,103 円

成年被後見人等に対して、地域の身近な存在である市民が社会生活の中で培った経験を生かした後見活動を担えるように市民後見人養成研修を実施した。

1) 市民後見人養成研修

ア 5期生対象：市民後見人養成研修説明会の実施

開催月日	参加人数
令和元年6月26日(水) <南区> 6月27日(木) <緑区> 6月29日(土) <中央区>	30人

イ 5期生対象：市民後見人等選考委員会の実施(選考委員6人)

開催月日	受講決定者
令和元年8月7日(水)	9人

ウ 5期生対象：市民後見人養成研修「基礎研修」の実施

	開催月日	受講者数	修了者数
基礎研修	令和元年9月6日(金) ～令和元年10月25日(金) <計8日間>	9人	8人
実務研修	令和元年12月6日(金) ～令和2年1月21日(火) <計5日間>	8人	8人
実践研修	令和元年12月13日(金) ～令和2年3月6日(金) <計5日間> ※令和2年2月28日(金)及び3月6日(金)は、中止	8人	8人

エ 4期生対象：市民後見人養成「現場研修」の実施

	開催月日	受講者数	修了者数
現場研修	平成31年4月23日(火) ～令和2年3月10日(金) <計20日間> ※3月10日(金)は、電話での実施	12人	12人

- オ 4期生対象：市民後見人養成研修修了式
令和2年3月24日（火）を予定していたが中止

2) 市民後見人受任調整会議

ア 市民後見人受任調整会議の実施

開催月日	案 件	候補推薦者
令和元年8月7日（水）	3人	3人
令和2年1月22日（水）	3人	3人

イ 市民後見人の受任状況

類 型	平成30年度末 受任件数	新規受任件数	受任終了件数	年度末受任件数
後 見	9人	8人	2人	15人
保 佐	1人	1人	—人	2人
補 助	—人	—人	—人	—人
合 計	10人	9人	2人	17人

3) 市民後見人への相談及び事務支援

- 市民後見人受任後の活動について、後見事務支援及び相談援助を実施
- 受任後1年間は、毎月面談を実施

4) 市民後見人養成研修修了者へのフォローアップ研修（1期～3期生）

開催月日		参加人数	内 容
第1回	令和元年11月21日（木）	19人	「成年後見人等が知っておきたい法律知識」 講師 司法書士
第2回	令和2年1月29日（水）	17人	「民法（債権法）改正のポイント」 講師 弁護士
第3回	令和2年3月13日（金） ※中止	—	「活動上の課題について」 講師 社会福祉士

④ 在宅福祉推進事業

1 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業

(委託・自主) 82,738,276 円

調理・買物が困難な在宅のひとり暮らし高齢者等に週4回(月・火・木・金)を上限に給食を配食することにより、食の確保、安否確認、孤独感の解消を図った。

利用者の状況

地域	登録者	実利用者	新規	廃止
緑区	140人	95人	26人	60人
中央区	109人	105人	4人	36人
南区	168人	147人	6人	30人
合計	417人	347人	36人	126人

調理食数(実施日数 203日)

地域	調理食数
緑区	15,315食
中央区	19,410食
南区	26,928食
合計	61,653食

配食協力員等の状況

区分	内容
配食協力員	227人
配食拠点	42か所

利用者宅へ給食を手渡しで届ける市民参加による「配食協力員」は、城山、津久井、相模湖及び藤野地区を除く18地区で活動

1) 行事食の実施

行事食の提供に際しては、多様な団体、市民の協力により実施

「クリスマス」行事食

- 給食の配食に合わせて、「令和2年カレンダー」を贈呈。「カレンダー」には、市内保育園児(58園)の塗り絵、相模女子大学中学部・高等部書道部による書、女子美術大学、絵手紙サークルによる季節の絵等が提供され、いるかバンク登録者、ふれあいサービス協力会員等が製本作業等に参加



2) 職員体制

職名	人数
ふれあいサービス相談員	6人

3) 配食協力員通信等の発行

配食協力員に向け、活動の心構えや注意事項、行事食の報告等を発信

発行月等	内容	配布対象
令和元年5月	・食中毒予防について	利用者・配食協力員
6月	・熱中症予防について	
10月	・感染症対応について	
令和2年1月	・クリスマス給食の報告 ・配食協力員の心構え	配食協力員
2月	・新型コロナウイルス感染症対策のお願い	利用者・配食協力員

4) 配食協力員懇談会

配食協力員の資質向上と活動の担い手のとしての必要な知識・技術の習得とともに、日頃の活動状況を共有することを目的として開催

地域	開催月日・会場	参加者数	内容
緑区	令和元年10月9日(水) 緑区合同庁舎	14人	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養講座 (講師：宅配クック123管理栄養士) ・お弁当試食 ・懇談会
中央区	令和元年11月6日(水) あじさい会館	23人	
南区	令和元年10月30日(水) 南保健福祉センター	25人	

5) その他

- ・令和元年東日本台風による津久井地区県道の交通規制に伴い再委託事業者宅配クック123の配食活動に係る連絡調整を実施
- ・事故、トラブルのリスク管理の観点から、配食協力員の緊急連絡先を登録

2 福祉用具無料貸出事業

(自主) 79,897 円

一時的に福祉用具を必要とする市民で、次のいずれかに該当する個人又は団体を対象に無料貸出しを行った。

福祉用具貸出状況

区 分	障がい者	高齢者	傷病	福祉団体 学 校	その他	合計
貸出件数	53 件	634 件	334 件	49 件	11 件	1,081 件
貸出点数	53 点	636 点	335 点	83 点	26 点	1,133 点

3 相模原身体障害者用福祉車両（あじさい号）運行事業

(委託) 31,993,478 円

車椅子利用者等の送迎サービスとして、リフト付き福祉バス(あじさい号)の運行を実施した。(運行拠点：あじさい会館2・3号車、南区事務所4号車)

運行状況

※申込件数 1,894 件

号車区分	運行日数	利用状況			
		障がい者	介護者	計	1日平均
あじさい2号車	256日	573人	358人	931人	2.2人
あじさい3号車	272日	605人	395人	1,000人	2.2人
あじさい4号車	288日	666人	321人	987人	2.3人
合 計	816日	1,844人	1,074人	2,918人	6.7人

行先・利用目的

号車区分	行先区分		利用目的						
	市内	市外	医療	買物	行事	手続	施設	その他	計
あじさい2号車	531人	42人	408人	47人	—人	6人	92人	20人	573人
あじさい3号車	563人	42人	417人	57人	2人	5人	103人	21人	605人
あじさい4号車	614人	52人	388人	64人	10人	6人	173人	25人	666人
合 計	1,708人	136人	1,213人	168人	12人	17人	368人	66人	1,844人

4 津久井地域移動支援サービス事業

(委託・自主) 46,574,135 円

津久井 4 地域事務所管内において、公共交通機関を利用することが困難な方への移送サービスを実施した。

1) 津久井地域障がい者移動支援サービス事業実施状況

区 分	累 計
運行日数	240 日
利用延べ件数	6,030 件
利用延べ人数	1,012 人

2) 津久井地域高齢者移動支援サービス事業実施状況

区 分	累 計
運行日数	240 日
利用延べ件数	6,438 件
利用延べ人数	1,840 人

5 ファミリー・サポート・センター事業

(委託) 20,481,801 円

安心とゆとりをもって子育てができるよう、会員制による有償の子育て支援事業を行った。ひとり親で児童扶養手当受給世帯には、謝礼の半額助成を実施

10 月より開始された幼児教育・保育無償化の制度については、本事業も対象とされるため、希望会員に利用証明書を発行した。また、福祉的な課題を抱える世帯が増加傾向にあり、他機関・事業との連携のもと支援を行った。

会員登録状況

区 分	会員数
利用会員	1,986 人
援助会員	631 人
両方会員	60 人

活動状況

各種活動実績	
利用実人数	477 人(両方会員 13 人含む。)
援助会員活動実人数	228 人(両方会員 14 人含む。)
利用(活動)回数	10,613 回

※ 両方会員：利用会員、援助会員両方に登録している人

会員拡充の取組

区 分	開催回数	参加者数等
入会説明会	38回(毎月3区開催)	698人
援助会員講習会	3回(1コース3日間×3区開催)	46人

会員研修等の取組

区 分	開催回数等	内 容	参加者数等
援助会員随時研修会	9回(3区開催)	小児救命救急講習 講師：相模原市赤十字奉仕団	27人
全会員交流会	令和元年9月2日(月)	「みんな違って、みんな笑顔」 にじいろサポーターになろう 発達障 がいの理解 (講師：れいんぼうず)	22人
	9月9日(月)		16人
会報「子育てサポート さがみはら」発行	第32号 (令和元年12月)	・ 会員交流会報告 ・ 援助会員講習会募集 ・ センターからのお願い	3,000部

活動内容

区 分	年 間 累計件数	月平均 件 数
保育所・幼稚園の送迎、登降園前 後の預かり	3,534件	294.5件
学童の送迎及び登校前、帰宅後の 預かり等	1,581件	131.8件
児童クラブの送迎、前後の預かり	1,378件	114.8件
子どもの習い事等の場合の援助	1,740件	145件
その他	2,380件	198.3件
合 計	10,613件	884.4件

利用会員世帯年齢別児童数

年 齢	人 数	年 齢	人 数
0歳	148人	7歳	220人
1歳	264人	8歳	183人
2歳	375人	9歳	173人
3歳	362人	10歳	108人
4歳	328人	11歳	78人
5歳	320人	12歳	55人
6歳	275人	13歳以上	18人
		合 計	2,907人

ひとり親世帯等助成実績(登録者：28人 活動者：27人)

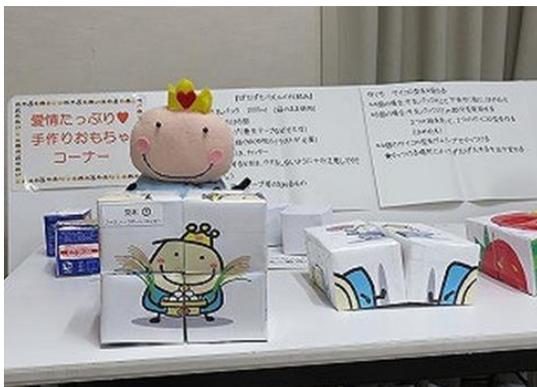
年間延べ利用者数	年間延べ活動者数	助成件数	助成時間	助成金額
120人	123人	994件	2031.5時間	743,875円

幼児教育・保育無償化実績

利用証明書発行件数
8件

職員体制

職名	人数
ファミリー・サポート・センター推進員	1人
ファミリー・サポート・センターアドバイザー	4人



6 生活福祉資金の貸付事務

(委託・自主) 10,587,681 円

失業などにより生活の維持が困難になった世帯へ緊急小口資金などの貸付けを行った。また、低所得世帯及び障がい者等の世帯に対し、民生委員の援助のもとで、福祉資金や教育支援資金などの貸付けを行った。

貸付決定の状況

資金名	資金の内容	件数	貸付金額
福祉資金	障がいのある方の自動車購入に係る資金、エアコン設置に係る資金、転居に係る資金等	21件	7,182,000円
緊急小口資金	緊急かつ一時的な生計維持困難世帯への生活資金	6件	560,000円
教育支援資金	高等学校・短期大学・大学・専門学校の授業料等の資金	29件	16,413,000円
合計		56件	24,155,000円

7 生活資金一時貸付事業

(補助・自主) 866,613 円

他からの借入が困難で、一時的に生活が困窮している世帯に対し、生活資金の貸付けを行い、世帯の経済的支援を行った。

貸付決定の状況

資金名	貸付金		償還金	
	件数	貸付金額	件数	償還金額
生活資金	6件	401,000円	196件	1,101,000円
修学資金	2件	237,000円	35件	211,000円
高校等通学資金	1件	1円	12件	6,000円
合計	8件	638,000円	243件	1,318,000円

1) 滞納者に対する督促等の状況

- 督促状の発送：2回
- 督促者数：延べ353件
- 職員による訪問等調査対象者：136件

2) 借受滞納者償還免除（欠損処分）

- 借受人が死亡、又は最終償還期限到来後10年以上経過しても借受人より償還させることが困難である人等
- 対象者：8人
- 免除額：550,000円

運用状況

平成30年度末	令和元年度			
年度末貸付金A	貸付金B	償還金C	償還免除額D	年度末貸付金 A+B-C-D
11,731,750円	638,000円	1,318,000円	550,000円	10,501,750円

8 要援護世帯生活資金貸付事業

(自主) 4,830,000円

生活保護の申請に至った要援護世帯へ、生活保護費支給日までのつなぎ資金として生活資金の貸付けを行った。(貸付限度額5万円)

- 貸付件数：344件

9 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(補助) 7,297,020円

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金の貸付けを行った。

- 貸付件数
 - ・ 入学準備金：6件 3,000,000円
 - ・ 就職準備金：7件 1,400,000円

10 社会福祉事業振興資金貸付事業

(自主) 614,475,408 円

民間社会福祉事業の振興策として社会福祉施設の建設資金等貸付金の償還管理等を行った。

- 令和元年度末借入施設数：15 施設
- 貸付金元金残高：551,435,000 円

法人名	貸付日	貸付年度	貸付金額	償還回数	償還額内訳	
					償還済額	元金残高
(福)せんだん保育園	H16.4.27	H15	17,200,000 円	16/20	13,760,000 円	3,440,000 円
(福)県央福祉会	H16.5.11	H15	41,100,000 円	16/20	32,880,000 円	8,220,000 円
(福)菊清会	H17.5.31	H16	64,398,000 円	15/20	48,303,000 円	16,095,000 円
(福)さがみの福祉会	H19.2.27	H18	50,500,000 円	13/20	32,825,000 円	17,675,000 円
(福)大地の会	H19.5.30	H18	26,300,000 円	13/20	17,095,000 円	9,205,000 円
(福)ムクドリ福祉会	H20.4.25	H19	21,300,000 円	12/20	12,780,000 円	8,520,000 円
(福)相模福祉村	H20.4.30	H19	119,700,000 円	12/20	71,820,000 円	47,880,000 円
(福)東の会	H20.5.8	H19	49,900,000 円	12/20	29,940,000 円	19,960,000 円
(福)小山地域福祉会	H20.5.16	H19	88,500,000 円	12/20	53,100,000 円	35,400,000 円
(福)新日本学園	H20.5.16	H19	170,000,000 円	12/20	102,000,000 円	68,000,000 円
(福)清菊会	H21.4.14	H20	94,400,000 円	11/20	51,920,000 円	42,480,000 円
(福)東香会	H21.4.24	H20	52,800,000 円	11/20	29,040,000 円	23,760,000 円
(福)直源会	H23.4.18	H22	116,300,000 円	9/20	46,340,000 円	69,960,000 円
(福)蓬莱会	H24.6.6	H23	170,000,000 円	8/20	68,000,000 円	102,000,000 円
(福)報徳会	H24.6.15	H23	131,400,000 円	8/20	52,560,000 円	78,840,000 円
合 計			1,213,798,000 円		662,363,000 円	551,435,000 円

⑤ 住民参加推進事業

1 ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業

(自主) 21,144,612 円

高齢者・障がい者世帯等の自立支援及び障害者地域活動支援センターなど団体の活動の援助を目的に、会員制による家事援助・介助サービスを行った。

相談件数の状況

区分	高齢	障がい	母子	父子	傷病	出産	その他	団体	合計
緑区	47件	18件	0件	1件	0件	5件	2件	0件	73件
中央区	81件	9件	1件	0件	11件	16件	4件	0件	122件
南区	185件	18件	0件	0件	5件	35件	1件	0件	244件
合計	313件	45件	1件	1件	16件	56件	7件	0件	439件

個人会員

区分 年齢	個人会員	
	協力会員	利用会員
30歳未満	0人	6人
30～39	1人	21人
40～49	18人	18人
50～59	34人	10人
60～69	81人	41人
70～79	105人	125人
80～89	3人	259人
90歳以上	0人	81人
合計	242人	561人

※団体利用会員：7団体

活動状況

区分	年間累計	月平均
利用人数	4,036人	336人
活動人数	2,098人	175人
活動延べ回数	14,808回	1,234回
活動延べ時間数	19,875時間	1,656時間

利用会員利用理由別内訳

区分		人数	
個人会員	高 齢	身体障がい	38人
		知的障がい	1人
		精神障がい	10人
		認知症	26人
		傷病	181人
		その他	233人
	小計		489人
	障がい		27人
	母子		0人
	父子		1人
	傷病		17人
出産		25人	
その他		2人	
団体会員		7人	
合計		568人	

協力会員随時研修会の開催

開催月日・会場	内 容	受講者
令和元年 10 月 11 日(金) ふれあいの家「ぬくもり」	テーマ 「暮らしの達人に教えてもらう掃除、整理整頓のコツ」 講 師 相模友の会	11 人
11 月 6 日(水) あじさい会館	テーマ 「高齢者の栄養や調理の講話と試食会」 講 師 (株)シニアライフクリエイト 渡辺管理栄養士	47 人
11 月 26 日(火) ユニコムプラザさがみはら	テーマ 「好感のもてるコミュニケーション」 講 師 相模女子大学 松崎吉之助准教授	44 人

協力会員入会説明会

緑区		中央区		南区		合計	
参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数
9 人	6 人	25 人	19 人	36 人	32 人	70 人	57 人

※毎月、説明会を3区で開催

職員体制

職 名	人 数
ふれあいサービス相談員	6 人



活動風景

障がいのある方の通院付き添いや散歩など、
利用会員からの幅広いニーズに対応



協力会員随時研修会

掃除の実技のあとは、みんなで環境に優しい石鹸づ
くり

2 要介護認定調査事業

(委託) 29,697,640 円

介護保険に係る要介護認定調査（新規及び区分変更）を受託し、介護保険サービスの質向上を図った。また、相模原市からの介護認定調査依頼件数の大幅増に対応するなど、自主財源確保に努めた。

受託件数		職員体制	
委託元	件数	職名	人数
相模原市	4,488 件	介護認定調査支援員	1 人
他市町村	29 件	介護認定調査員	21 人

3 介護支援ボランティア事業

(委託) 4,317,891 円

登録した 65 歳以上の市民がボランティア活動を行った実績に基づきポイントを付与し、報償金を交付する介護支援ボランティア事業（さがみはら・ふれあいハートポイント事業）の一部を受託し、ボランティア活動の推進を図った。

1) 業務内容

- ア 介護支援ボランティアの登録
- イ 介護支援ボランティア活動手帳の発行
- ウ 介護支援ボランティア活動の調整
- エ 介護支援ボランティア活動の研修

登録者数

区分	登録者数
平成 30 年度末	1,285 人
新規	181 人
取消	71 人
令和元年度末	1,395 人

2) 登録説明会の開催

ボランティアセミナーとの同時開催 18 回、自治会・地区社会福祉協議会等主催 1 回

⑥ 市民福祉会館運営事業

(受託・自主)112,207,054円

1 あじさい会館管理運営事業

1) 開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	321日
利用料収入	12,128,080円

高齢者等福祉施設の利用状況 ※利用は、昼間（午前・午後）のみ

区 分 室 名	団 体			個 人
	件 数	回 数	利用者数	利用者数
第1和室	465件	614回	7,330人	
第2和室	183件	217回	1,209人	
第3和室	183件	217回	1,202人	
大和室	2件	4回	200人	7,520人
ボランティア活動室	419件	476回	5,772人	
合 計	1,252件	1,528回	15,713人	

一般利用施設の利用状況

区 分 室 名	利用件数	利用回数	利用者数	
ホール	281件	423回	56,670人	
展示室	第1展示室	426件	568回	17,610人
	第2展示室	364件	501回	10,448人
	小 計	790件	1,069回	28,058人
研修室	479件	533回	10,277人	
講習室	420件	506回	9,593人	
和 室	大和室	3件	3回	60人
	第1和室	3件	3回	30人
	第2和室	58件	58回	466人
	第3和室	21件	21回	112人
	小 計	85件	85回	668人
合 計	2,055件	2,616回	105,266人	

2) 防災訓練の実施

災害時における会館利用者の安全確保のため、会館に勤務する職員等を対象に防災訓練等を実施した。

開催月日	内 容
令和元年7月8日(月)	あじさい会館防災訓練 館内消防設備機能習得及び防災訓練を実施 参加者：30名
11月8日(金)	あじさい会館消防総合訓練 通報連絡、初期消火、避難誘導、救護訓練 参加者：103名

3) 会館ロビーにおける福祉関連パネル展示の実施(主なもの)

展示期間	内 容
令和元年3月28日(木) ～4月30日(火)	相模原市自閉症児・者作品展
8月16日(金) ～8月30日(金)	NPOの活動紹介パネル展
8月30日(金) ～9月13日(金)	ボランティア・市民活動啓発パネル展
10月16日(水) ～10月23日(水)	みんなの福祉ポスター・標語展
11月20日(水) ～令和2年3月30日(月)	あじさい大学OB会会員(21グループ)が制作した作品展(※3月中の5グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止)

4) ロビーコンサートの実施

開催月日	内 容
令和元年12月10日(火)	「ほっとさーくる相模原」によるハンドベル演奏 「第2けやき音楽隊」による合唱 「カンタンビレー」によるチェロ・バイオリンの演奏

5) 「あじさい会館の日」イベント

開催月日	内 容
令和元年9月21日(土)	世界アルツハイマーデー啓発事業 ～認知症についての理解を深める～ 「ぼけますから、よろしくお願ひいたします。」の上映 映画チケット販売枚数：326枚

6) ファミリーコンサート「音楽の贈り物」♪歌の花たば♪の開催

赤ちゃんから高齢者まで誰もが気軽にクラシック音楽を楽しめるコンサートを開催した。

開催月日	内 容
令和元年 12 月 22 日(日)	わいわいコンサート及びアフターヌーンコンサート 出演：アンサンブルディベルターズ 峰岸由佳 販売枚数：264 枚

7) 福祉講座の開催

あじさい会館・南分室・緑分室の利用促進のために3区で福祉講座を企画した。

開催予定日		参加申込	内 容
南 区	令和2年2月27日(木)	40人	福祉講座 「終活で豊かなセカンドライフを～ 人生後半の過ごし方～パート3」 講師：安藤 智文氏 高橋 賢氏 (一般社団法人 安藤企画)
中央区	2月28日(金)	80人	
緑 区	2月28日(金)	35人	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止

8) 職員研修の実施

あじさい会館に勤務する委託業者職員、事務員等を対象に職員研修を実施した。

開催月日	参 加	内 容
令和元年 10 月 2 日(水)	2人	個人情報の取扱いに関する研修会 講師：田所 雅氏 (相模原市社会福祉協議会 福祉推進課長)

9) ロビー季節の展示

鯉のぼり、七夕飾り、クリスマスツリー等、季節に合わせた展示を実施した。

2 あじさい会館南分室（南保健福祉センター内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	322 日
利用料収入	142,970 円

高齢者等福祉施設の利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	499 件	509 回	8,559 人
情報交換ルーム	240 件	259 回	3,418 人
ボランティア活動室	356 件	395 回	4,155 人
合 計	1,095 件	1,163 回	16,132 人

一般利用施設利用状況

室名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	41件	41回	719人
情報交換ルーム	25件	25回	429人
合計	66件	66回	1,148人

3 あじさい会館緑分室（緑区合同庁舎内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区分	日数等
開館日数	327日
利用料収入	139,700円

高齢者福祉施設等利用状況

室名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	571件	587件	7,996人
情報交換ルーム	379件	407件	3,742人
ボランティア活動室	157件	193件	1,743人
合計	1,107件	1,187件	13,481人

一般利用施設利用状況

室名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	58件	58件	1,794人
情報交換ルーム	5件	5件	26人
合計	63件	63件	1,820人

⑦収益事業

⑦ 収益事業

1 飲料水等販売・自動販売機等運営事業

（自主）15,666,155円

飲料水等の販売及び自動販売機売上手数料収入等の収益を社会福祉事業の財源として活用した。

1) 社会福祉事業への繰入金支出額： 14,220,000円

2) 市内公共施設への自動販売機設置

○ 69施設 96台（うち、地域貢献型電光掲示板機能付自動販売機47台）